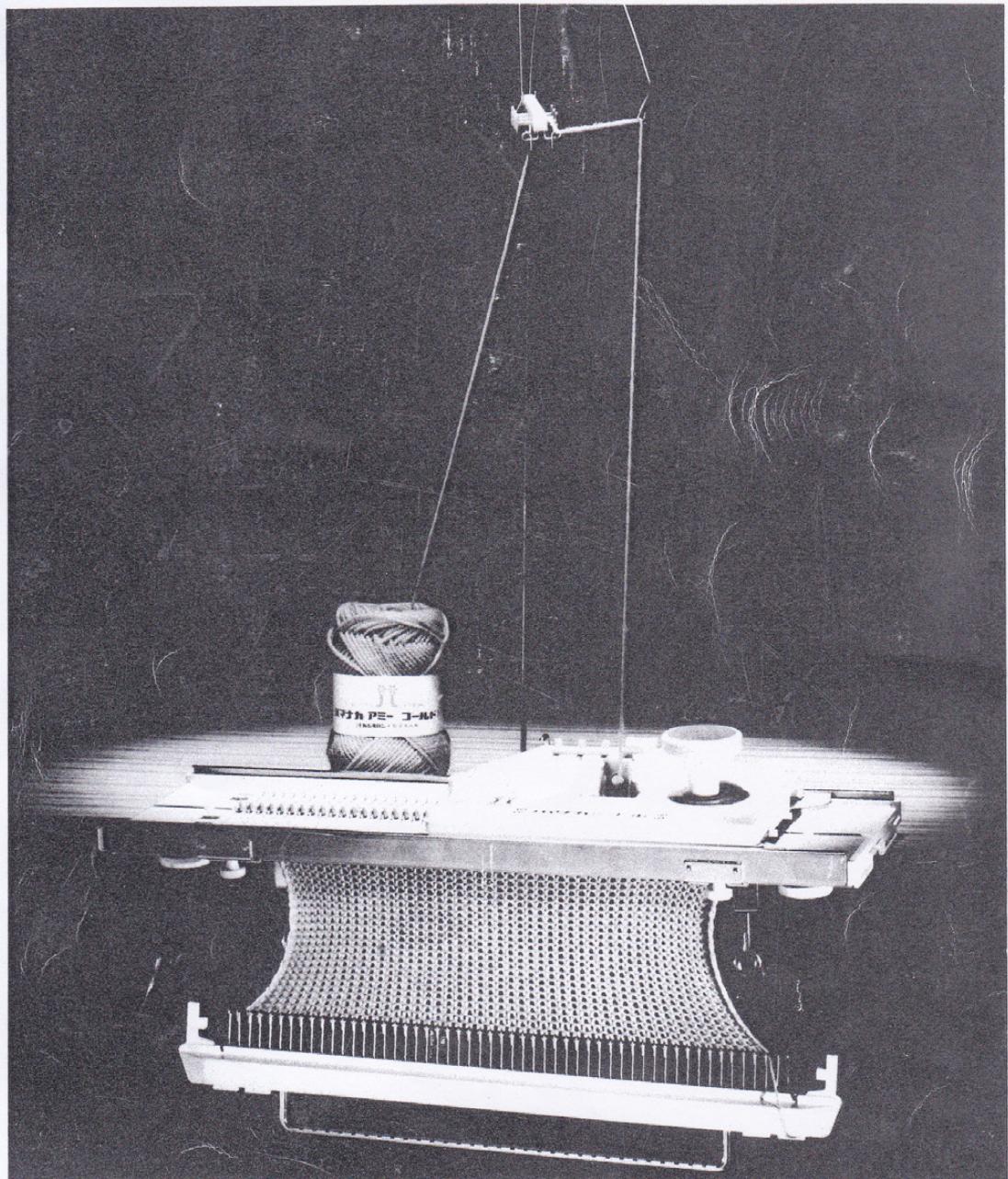


# 使用説明書

手あみの風あい

## ハマナカニードル



ハマナカ株式会社

★ お買い上げ誠にありがとうございました。

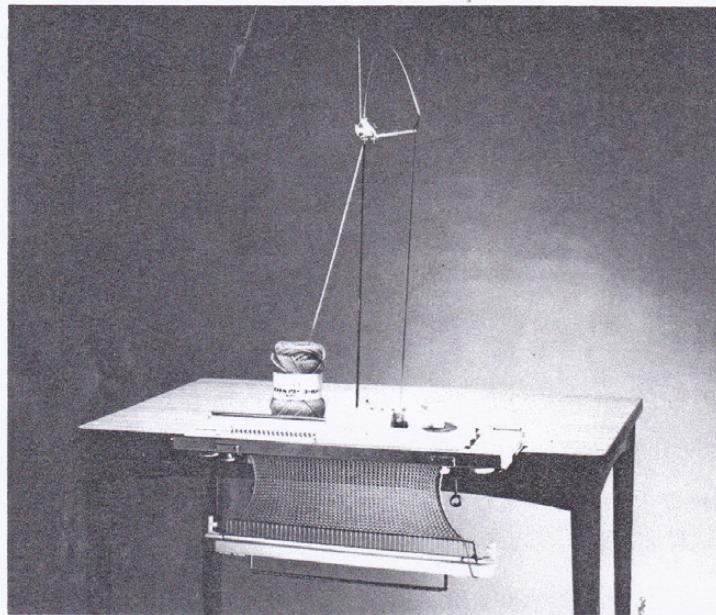
手芸手あみの楽しさを一人でも多くの女性に味わっていただき  
ことを願い、商品・作品・手法・色などに絶えず研究を続けて  
います旭化成ノマナカは、このたび ノマナカニードル を開発し  
ました。

数々の素晴らしい特長を持つ ノマナカニードル の正しい使い方  
をご理解いただくために、まずこの説明書をご覧下さいますよ  
うお願い申し上げます。

# 目 次

	ページ		ページ
1. はじめに	1	・ウッシの使い方	26
2. 各部のなまえとはたらき	3	・増し目・減し目の方法	27
・本体	3	・引き返し編み	29
・キャリジ	4	・編地を本体からはずすとき	31
・付属品	5		
3. 編み始める前に	7	10. 知っておきたい事柄	32
4. 素材組み合せとゲージ	8	・キャリジが途中で動かなくなったとき	32
5. 本体の組み立て方と編み始め方	9	・編地のほどき方	33
6. 基礎となる編地	14	・編んでいる途中で編目が落ちたとき	34
・表メリヤス編み	14	一段落ちたとき	
・裏メリヤス編み	14	数段落ちたとき	
・ゴム編み	15	・編出し板のゴム紐の交換のしかた	36
・変りゴム編み	16	・メリヤス針の修正のしかた	37
・ガーター編み	17		
・引き上げガーター編み	18		
7. <b>Jマナカニードル</b> のしまい方	19	11. 手入れと保存	38
8. 作品を編む前に知っておきたい事柄	20	・ <b>Jマナカニードル</b> の手入れ	
・抜き糸の使い方	20	・メリヤス針の保存	
・配色をするときには	21	・専用附属品の販売について	
・糸口のはずし方と取り付け方	22		
・編出し板が下につかえるようになったら	23	12. <b>Jマナカニードル</b> で編めるその他の楽しい編み地	39
・B板のはずし方	24	・表目・裏目でできる地模様	39
9. 作品を編む上で基礎となる手法	25	・引き上げ編み	40
・捨て編み	25	・透し柄	41
・編出し板から編地のはずし方	25	・交差	41
		13. 加化成 <b>Jマナカ</b> 手芸手あみ糸の特長と用途	43

**ハマナカニードル** 手芸は手あみの風合いを生かして  
しかも驚くべきスピードで楽しい作品が出来上る、新しい  
手芸です。



● むつかしい操作は不要！

誰にでもカンタンに棒針編  
地が自由自在にできます。

● 持ち運びの便利なハンディタイプ

**ハマナカニードル** は体は小さ  
いが働きは抜群  
スマートな携帯ケースに入れ  
れば持ち運びは自由です。

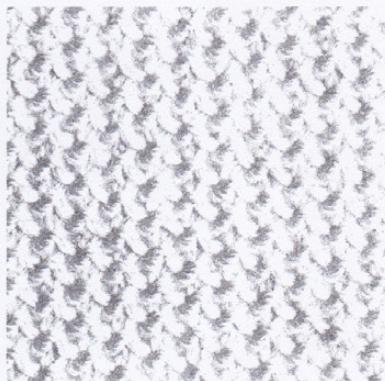
● この機能でお求め易い価格

素晴らしい働きをする  
**ハマナカニードル**、しかもお  
求め易い価格です。

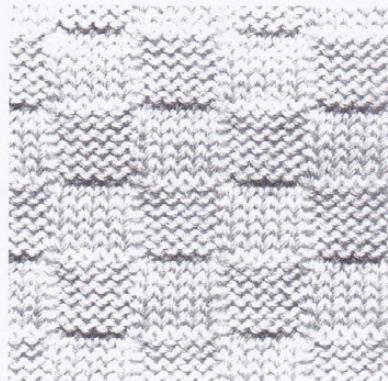


こんな編地もノマナカニードルなら  
カンタンに出来ます。

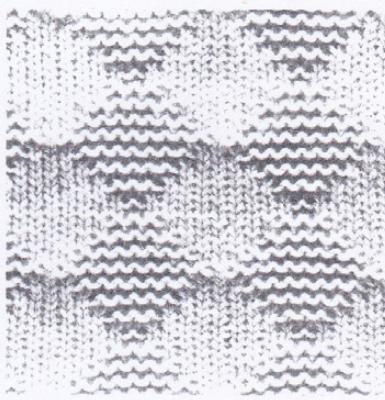
- (イ) 表メリヤス編み・裏メリヤス編みが一度にしかも自由な位置に出来ます。
- (ロ) ゴム編みも自動的に出来ます。
- (ハ) かのこ編み、市松模様、ダイヤ柄等あらゆる地模様もカンタンに出来ます。



かのこ編み



市松模様



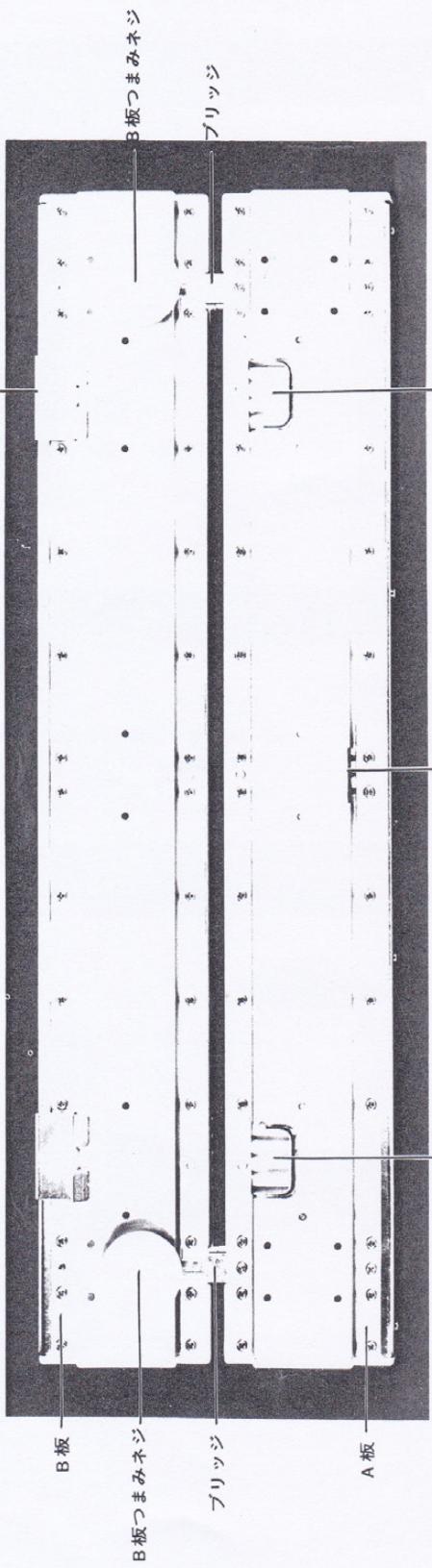
ダイヤ柄

- (二) ガーターカムを差し込むだけで、ガーター編みも超スピードでできます。

# 各部のなまえとはたらき

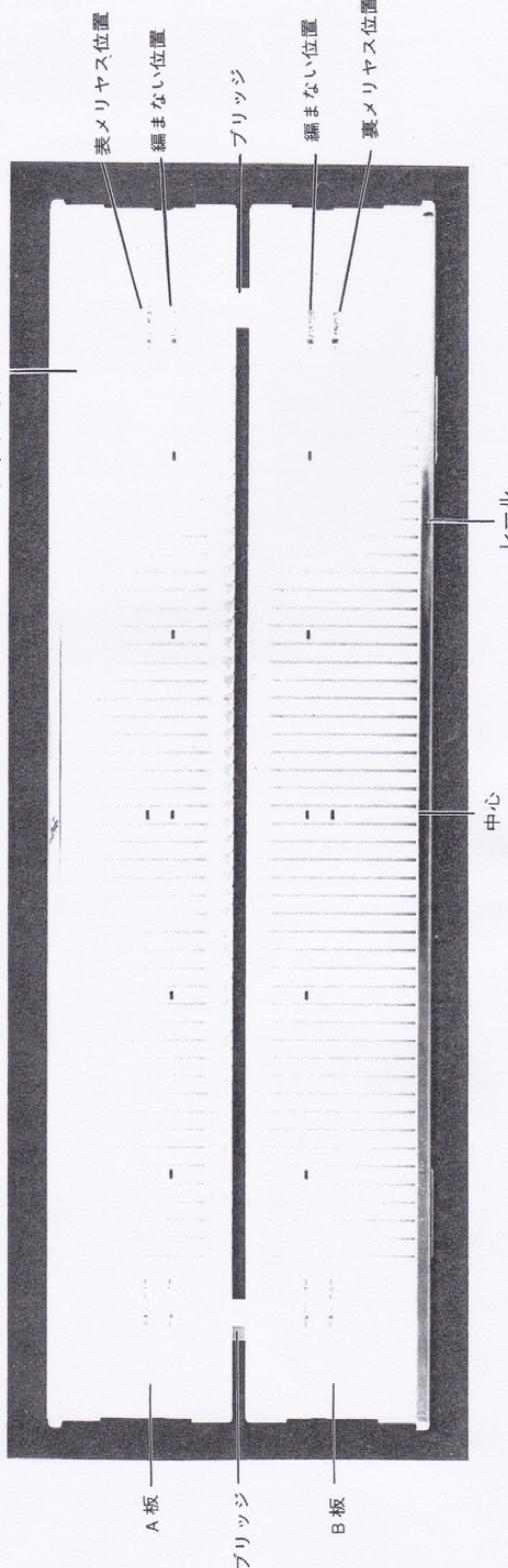
## 本体

(本体裏面)



クランプ取り付け口 クランプ取り付け口  
テンション棒差しこみ口

(本体表面)

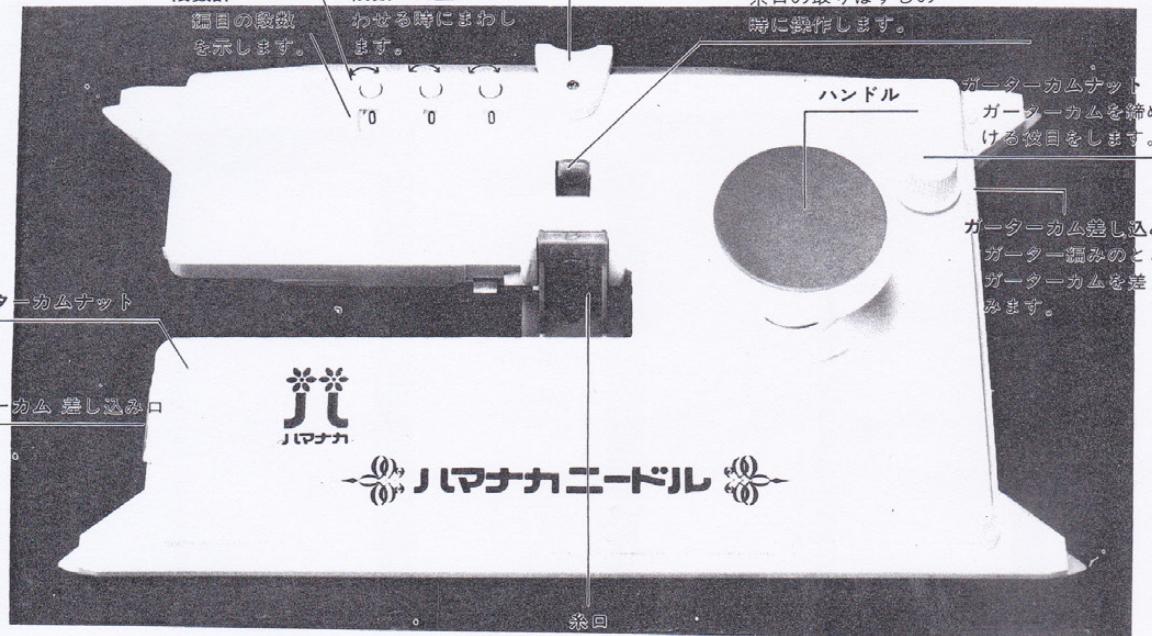


# キャリジ

## 段数計レバー

編目の段数を段数計に自動的に送る役目をします。

## (表)

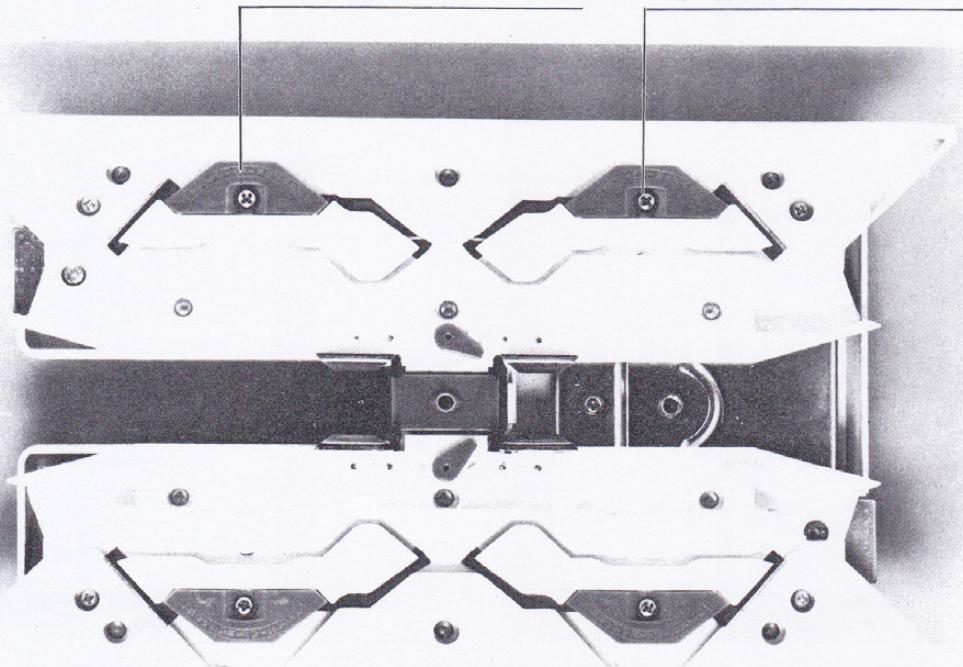


## (裏)

### ゲージ調整カム

手芸手あみ糸の太さに応じて  
編目の大きさを調節する役目  
をします。

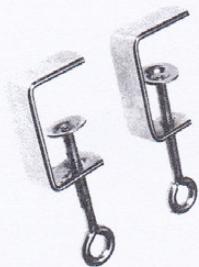
ゲージ調整カム取り付けネジ  
ゲージ調整カムの取り替えの  
時に利用します。



裏

## 付属品

----- 1



**クランプ(2個)**

本体を机に固定する時  
に使用します。



**柄板A**  
(1×1)



**柄板B**  
(3×1)  
(2×1)

**柄板**

メリヤス針を選針する時に使用します。

**テンション**

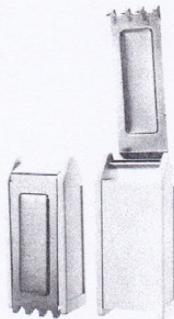
糸の送りを自動的に調節します。

**ガーターカム**

ガーター編みの時に使用します。

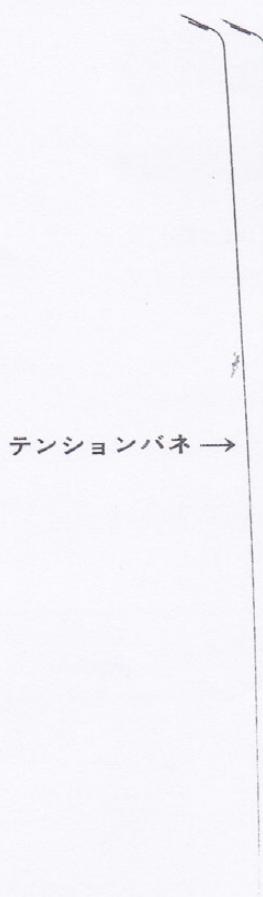


**端おもり**



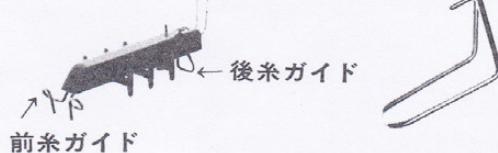
**ドライバー**

ゲージ調整カムを  
取り替える時に使  
用します。



**テンションバネ→**

**テンション棒**  
本体に差し込み  
テンションを取り  
つけます。



**前糸ガイド**  
**後糸ガイド**

## 付属品

2

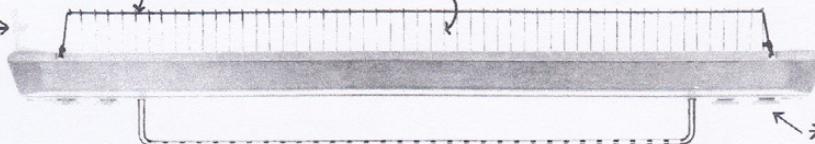
### レバー

編出し板を本体に吊り下げる役目をします。

### ゴム紐

編出し目(棒針編みの作り目に相当)の役目をします。(予備として1本ついています。)

### 編出し板フック



### 糸掛け

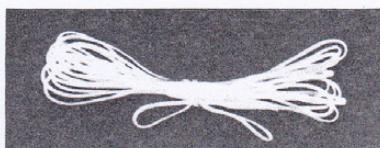
編み糸の端を巻きつけておきます。

### 編出し板

編出し目(棒針編みの作り目に相当)と、おもりの役目をします。

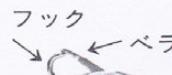
### 針押え棒

B板を取りはずすとき、メリヤス針が浮かないように抑えます。



### 抜き糸

2つの編地を編み、切り離したり、捨て編みの区切りに使用します。



### メリヤス針

メリヤス針は両端がフックになり(両頭針)、両方で編めますから、表メリヤス編み、裏メリヤス編みが一度にできるなど数々の特長がここから生まれます。



### 輪ゴム

針押え棒を本体にセットする時に使います。

### 糸通しと針矯正

編み糸をセットする時に使用します。

### ウツシ

増し目、減し目、模様編みなど目の移動をする時に使います。

### ゲージ調整カム(4種)

#### (A) ハマナカ フープライ カム



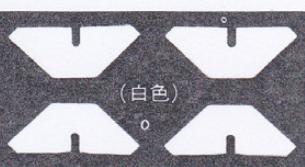
(緑色)

#### (B) ハマナカ アミーコーレド カム

(赤色)



#### (C) ハマナカ アミーミコ カム



(白色)

#### (D) ハマナカ ボニヌカム



(青色)



### 糸口(3個)

糸口は取りはずしが出き、配色をする時等に予備の糸口を使用します。



## 編み始める前に

編み始める前に、素材とゲージを確認して下さい。  
糸の太さに合せてゲージ調整カムを取り替えます。

### ゲージ調整カム



(緑色)



(赤色)



(白色)



(青色)



キャリジ(裏)

ネジで取り付けて下さい。

ゲージ調整  
カム

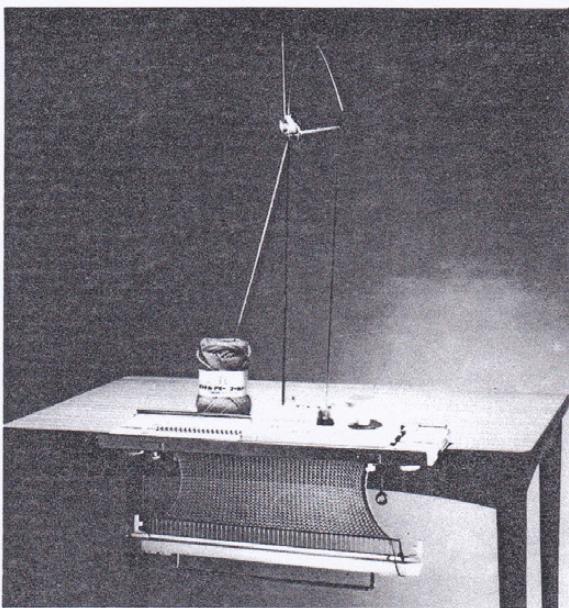
カム取り付けネジ

## 素材・組み合せとゲージ

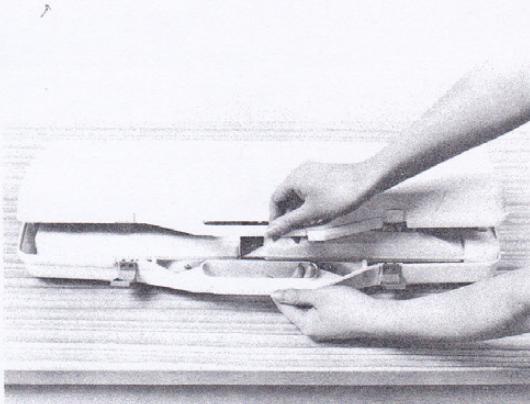
ゲージ調節カム	素 材
<b>ハマナカ フープライ カム</b> (緑色)	<b>ハマナカモヘア</b>
	<b>ハマナカ フープライ</b>
	<b>ハマナカ ミリオンモヘア</b>
<b>ハマナカ アミー(ゴールド) カム</b> (赤色)	<b>ハマナカ アミー(ゴールド)</b>
	<b>ハマナカ アミー ゴールド(カラフル)</b>
	<b>ハマナカ スリーフライ × ハマナカモヘア</b>
	<b>ハマナカ スリーフライ × ハマナカ ミリオンモヘア</b>
<b>ハマナカ アミー(ミコ) カム</b> (白色)	<b>ハマナカ アミー(ミコ)</b>
	<b>ハマナカ ネービー</b>
	<b>ハマナカ フープライ</b> 2本どり
	<b>ハマナカモヘア</b> 2本どり
	<b>ハマナカ フープライ</b> <b>ハマナカモヘア</b>
	<b>ハマナカ スリーフライ × ハマナカ アミー(ゴールド)</b>
<b>ハマナカボンヌ カム</b> (青色)	<b>ハマナカボンヌ</b>
	<b>ハマナカ アミー(ゴールド) × ハマナカモヘア</b>
	<b>ハマナカ ボニー</b> (針抜き)
	<b>ハマナカ ブーベル</b> (針抜き)

- ☆ メリヤス編みのゲージですので、ゴム編みの時は  
ひとゲージ落としたカムを使って下さい。
- ☆ 以上を参考にして、作品・用途等に応じてゲージ  
調節を行なって下さい。

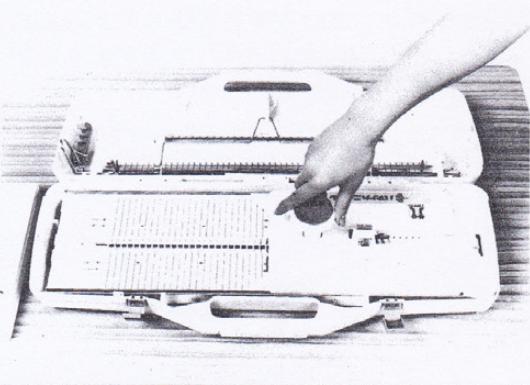
# 本体の組み立て方と編み始め方(メリヤス編み)



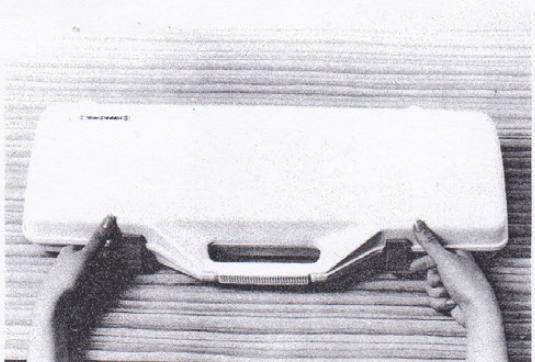
上の写真のように、編み出せる状態に  
**ノマナカニードル**を組み立てます。



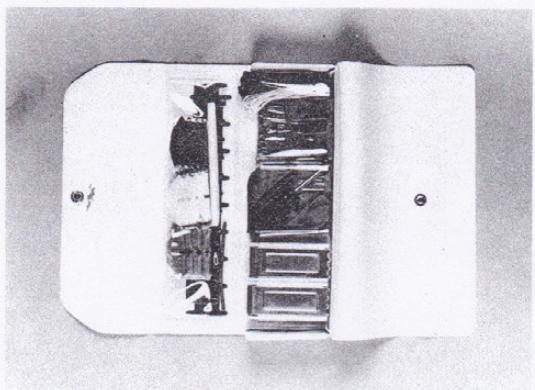
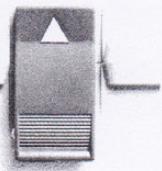
②上側の持ち手を持ってケースを開けます。



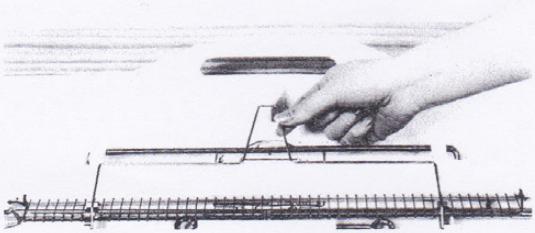
④ハンドルをキャリジに取り付け、  
キャリジと本体を出します。



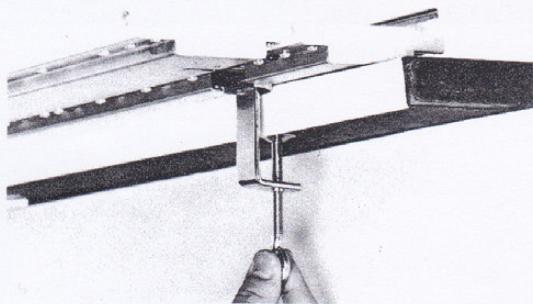
①持ち手を手前にし、尾錠の矢印が上を指すようにケースを置きます。尾錠の下部を手前上に引き上げますと尾錠は自然にはずれます。



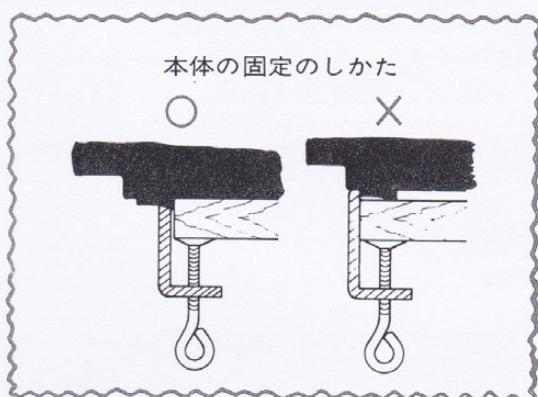
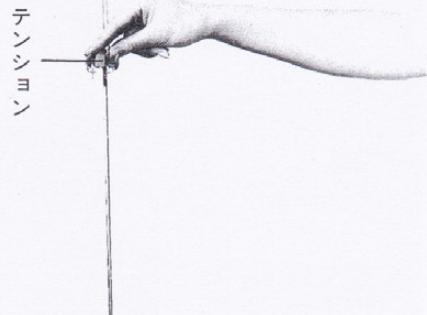
③付属品袋を出します。付属品は写真のように入っています。



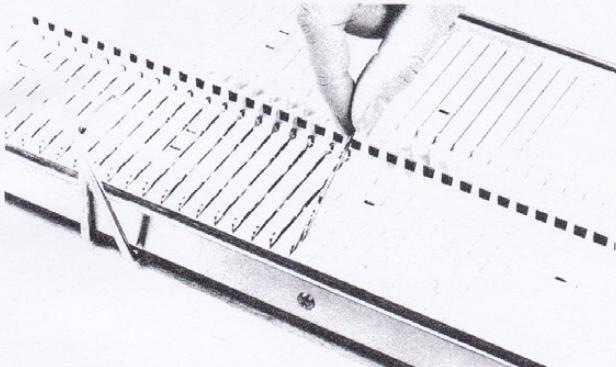
⑤ケース内の掛け金をはずし、編出し板・テンション・テンション棒・針押え棒・クランプを取り出します。



⑥クランプ2個を取り出し、本体を  
テーブルに固定します。

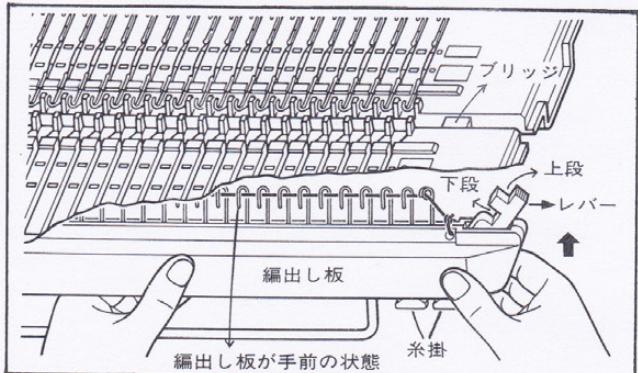


⑦A板にテンション棒をセットし、  
テンション棒の先にテンションを  
セットします。



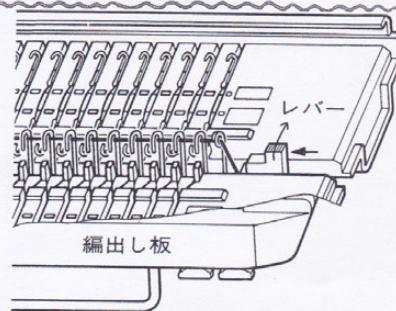
⑧必要な目数だけメリヤス針を本体のA板に  
並べます。

(メリヤス針は中心から左右バランスよく並べます。)

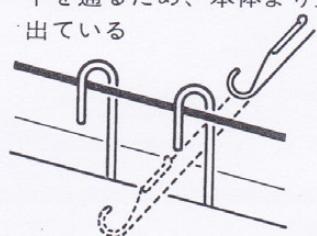


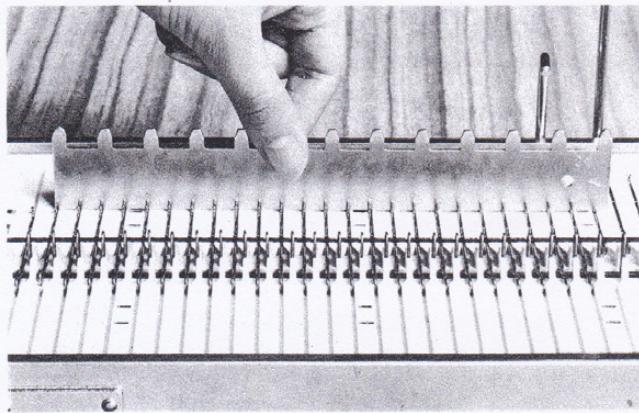
⑨編出し板を本体のA板とB板の間から出し、  
編出し板の両端のレバーの下段を本体のブリ  
ッジに差し込みます。

(注)編出し板の両端の  
レバーは、最初外  
側に開けておき、  
ブリッジに差し込  
んでから内側へ起  
こします。



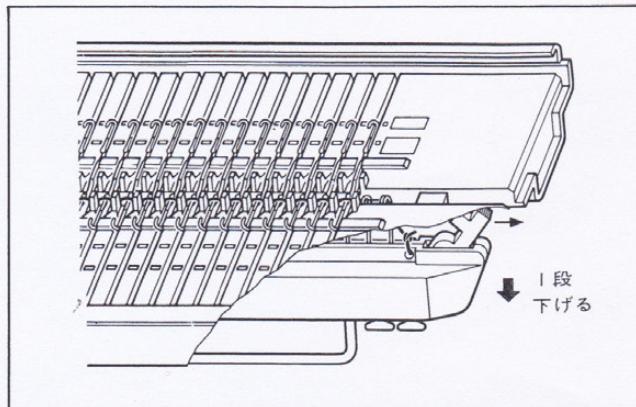
(注) この時メリヤス針がゴム紐の  
下を通るため、本体より上に  
出ている



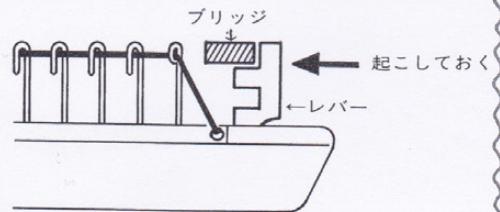


⑩メリヤス針を柄板Aの直線の方を使って、ゴム紐の下を通して表メリヤス位置まで出します。

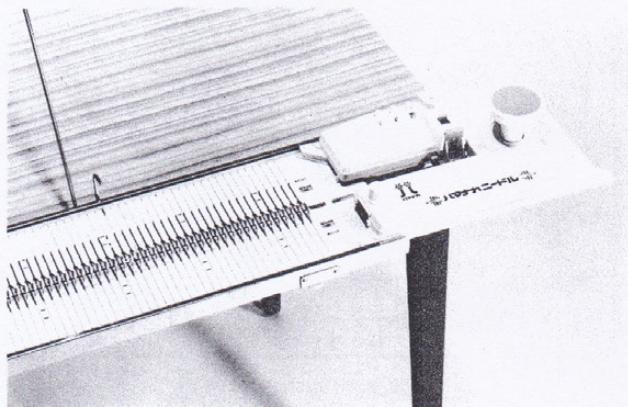
⑪編出し板の両端のレバーを外側へ開き、下へ1段下げます。  
(ゴム紐がメリヤス針にかかり編出し板が吊されます。)



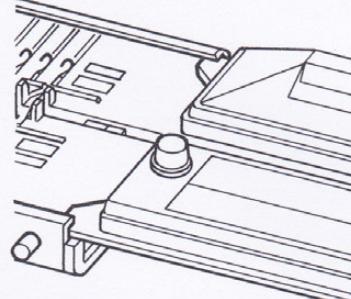
(注) 下げたら開いているレバーは両側共起こしておきます。(この時、編出し板を少し下へ引きながら起こす。)



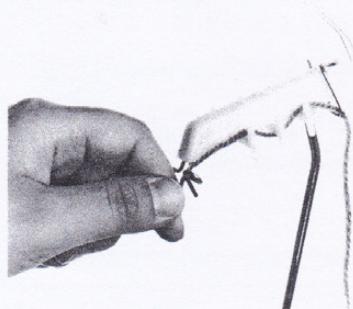
⑫キャリジを本体の右側にセットします。



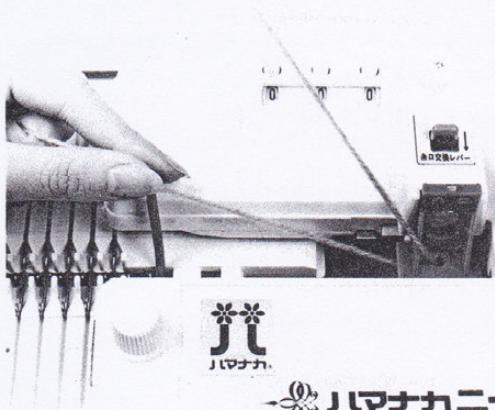
(注) キャリジは本体のレールにあわせてセットして下さい。



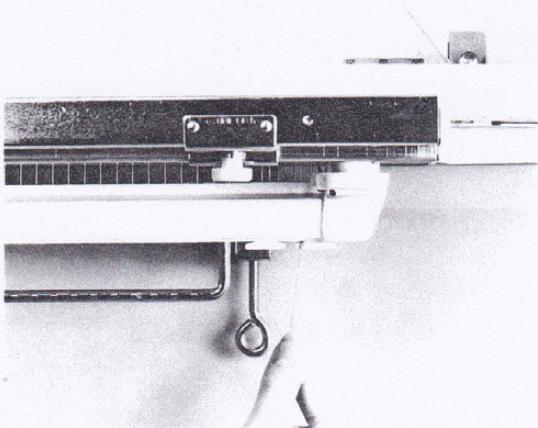
(口) 糸口に糸を通します。



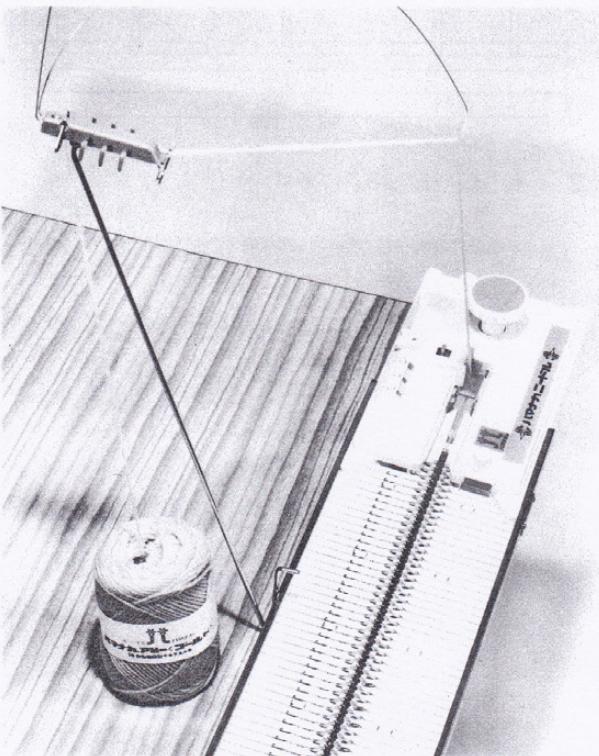
(ハ) ブリッジを越えて糸を通します。



(二) 糸掛けに糸を巻きつけます。



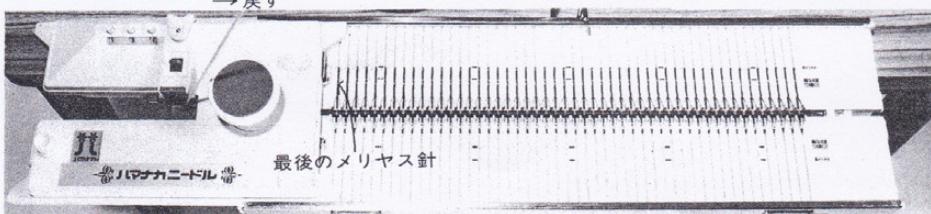
(ホ) テンションバネに糸を掛けます。



⑭キャリジを左右に動かすとメリヤス編みが編めます。

キャリジは途中でもどさず最後のメリヤス針を編み終ってからもどします。

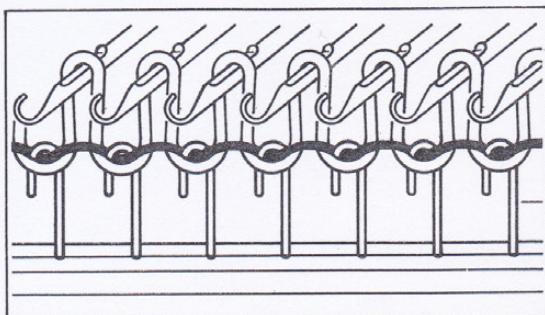
→戻す



## 編出し板のはたらき

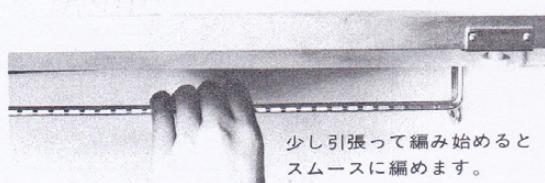
編出し板は、**編出し目とおもり**の役目をし、重要なはたらきをしますので特に理解しておいて下さい。

1. 編出し板のゴム紐は、編み出し目（棒針編みの作り目に相当します。）の役目をします。



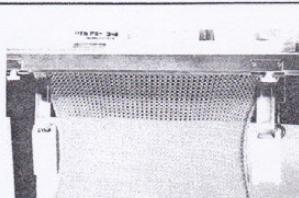
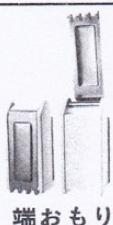
(注) ゴム紐が伸びきってしまうと役目が果せませんので適当に交換して下さい。(P 34参照)

2. 編出し板はおもりの役目もします。



おもりのき、は特に編出し及び編出しから4~5段編む間が不充分になり易いものです。

従ってこの間は、キャリジを出来るだけゆっくりと動かし、編出し板を左手で少し引張っておもりのきかしを助けるとスムースに編み始めます。

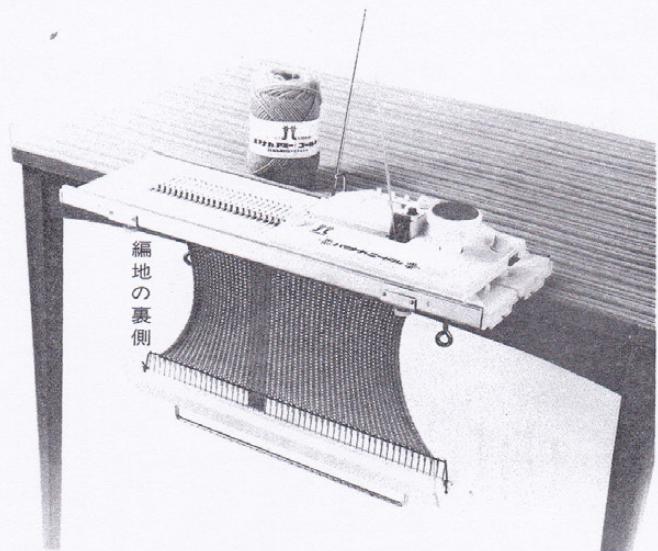
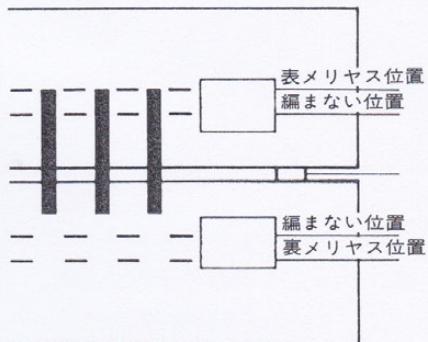


\* おもりのき、は特に編地の両端附属の2~3本の針に於て不充分になり易いものです。  
従って端おもりを出来るだけ両端の針に近い所に掛けて下さい。

## スピードを出して編む時は

1. メリヤス針が浮いていないか
  2. メリヤス針が正しい位置にあるか
- を充分注意して下さい。

# 基礎となる編地

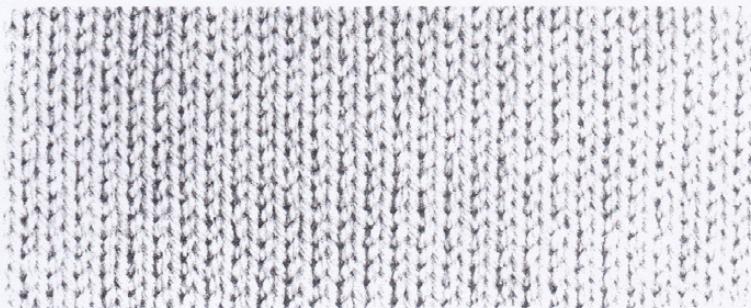


● 手前には編地の裏側がでてきます。

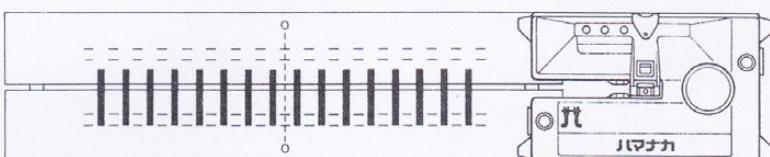
## 表メリヤス編み



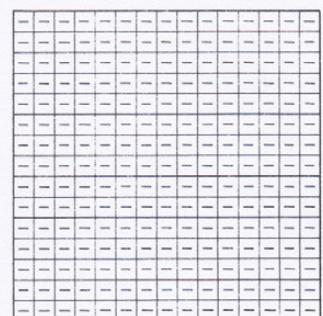
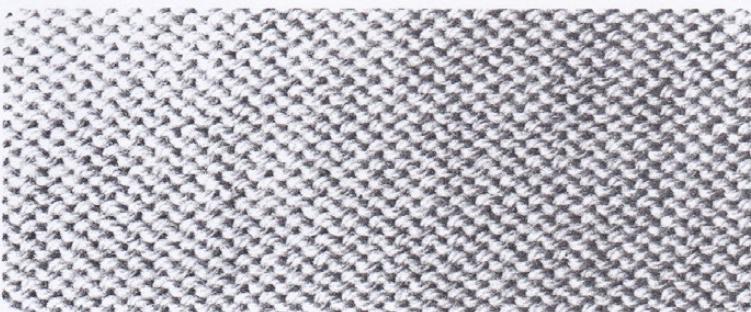
メリヤス針を表メリヤスの位置に並べて編みます。



## 裏メリヤス編み

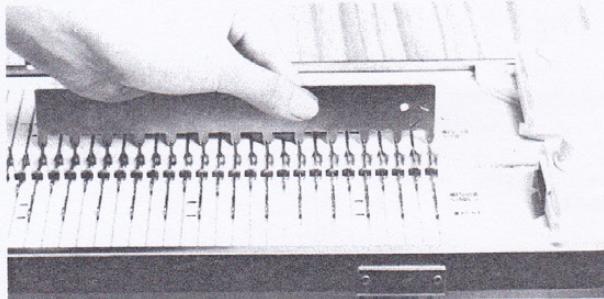


メリヤス針を裏メリヤスの位置に並べて編みます。

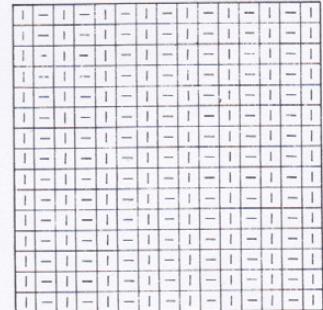
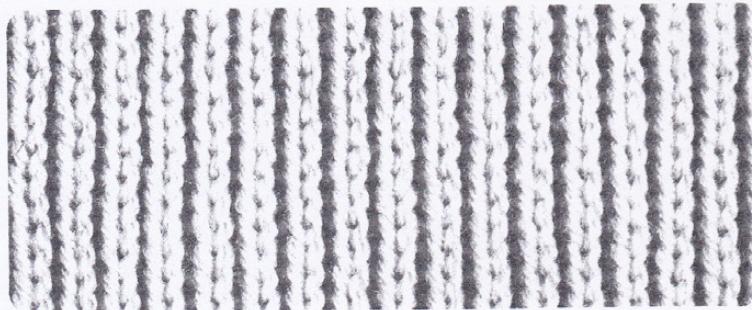
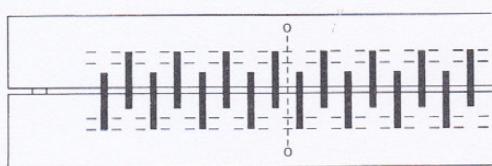


## ゴム編み

### 1目ゴム編み



柄板のA(1×1)を使ってメリヤス針を  
1目ごとに表メリヤスと裏メリヤスの  
位置に並べて編みます。



### 2目ゴム編み・その他のゴム編み

表目・裏目の組み合せは、何目ずつでも  
可能です。

(付属品の柄板A・Bを使えば便利です。)

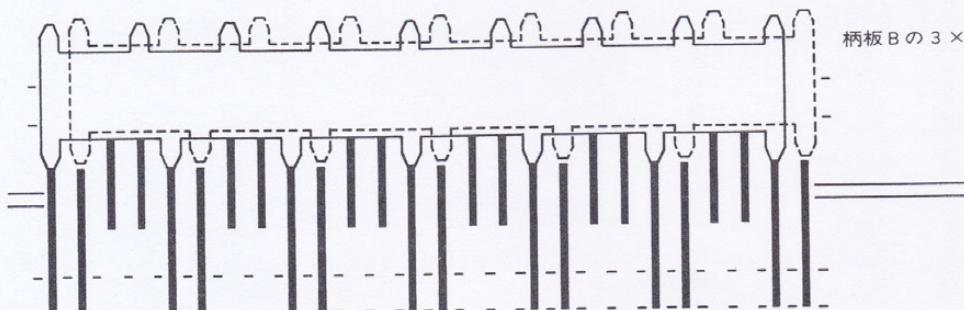
柄板A



柄板B



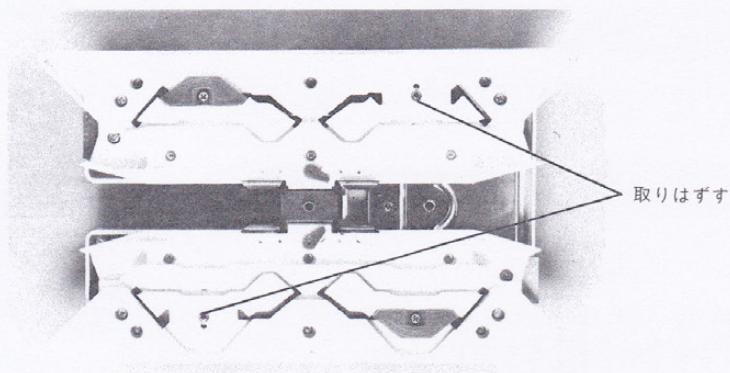
### 例) 2目ゴム編みをする時のメリヤス針の並べ方



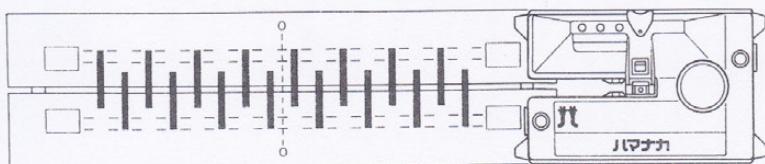
柄板Bの3×1を使い左図のように  
します。

## 変りゴム編み

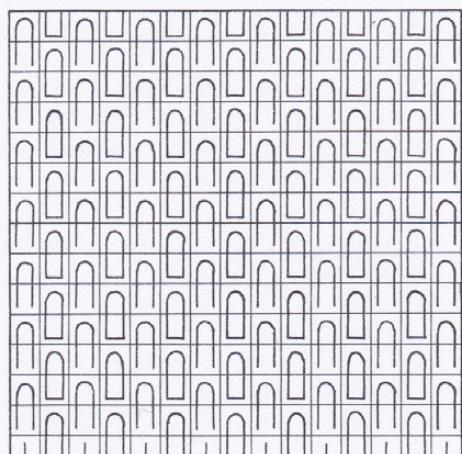
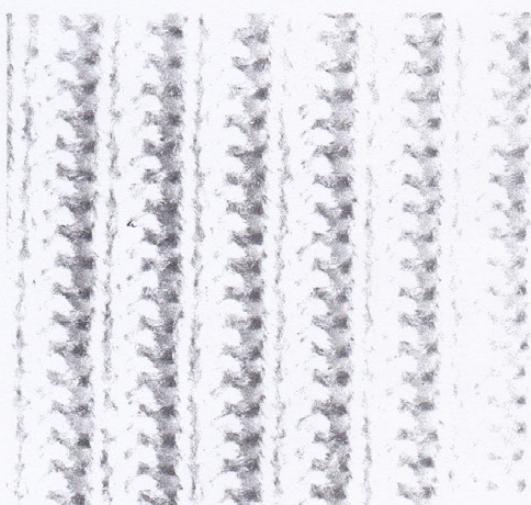
- キャリジの裏のゲージ調整カムを写真のように2ヶ所取りはずします。  
(この時ネジをしめつけておく)



- ゲージ調整カムを2段階大きなカムにします。例えばハマナカアミー《ゴールド》使用の時はハマナカポンヌカムを使用して下さい。
- 本体のメリヤス針をゴム編みの状態になるように並べます。ただし、必ず右端のメリヤス針は裏メリヤス位置に、左端のメリヤス針は表メリヤス位置に並べて下さい。

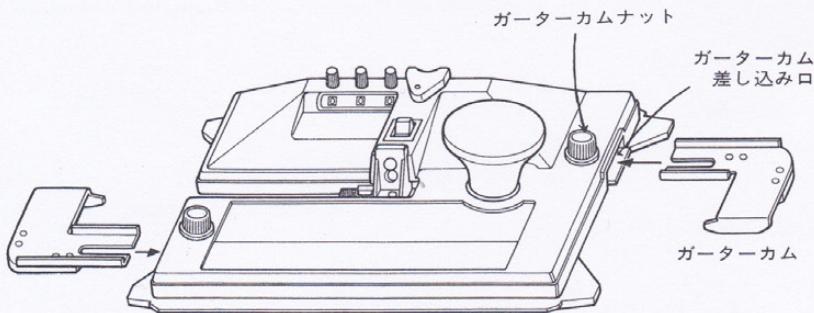


- キャリジを右から左へ動かした時、表メリヤス位置のメリヤス針だけが編め、裏メリヤス位置のメリヤス針は編めずに上に糸が渡ります。
- 次にキャリジを左から右へ動かしますと、前段とは逆に表メリヤス位置のメリヤス針は編めずに、裏メリヤス位置のメリヤス針は前段の横糸と共に編めます。  
(1段引き上げの状態) 以上のくり返しで変りゴム編みができます。

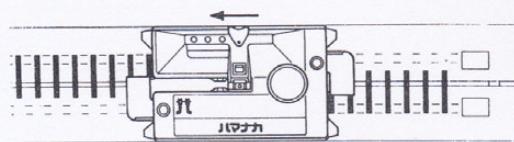
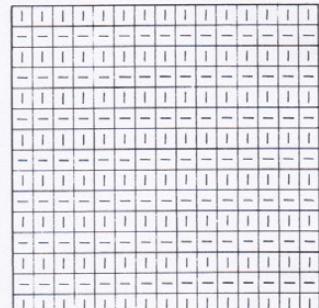
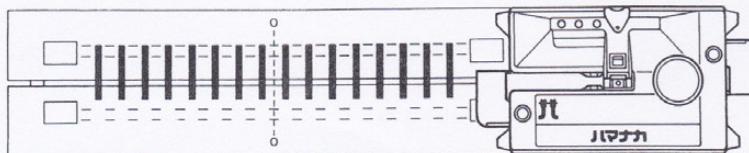


## ガーター編み

キャリジの左右のガーターカムナットをゆるめてガーターカムをガーターカム差し込み口にセットします。(図参照)



メリヤス針を表メリヤスの位置に並べ編地の右側から編みますとメリヤス針は裏メリヤスの位置に移動し、続けてキャリジを左右に動かせばガーター編みが自動的にできます。



(注) 編地の左側から編み始める時は、メリヤス針を裏メリヤスの位置に並べてから編みます。



## 引き上げガーター編み

### 片ベラ針(別壳)

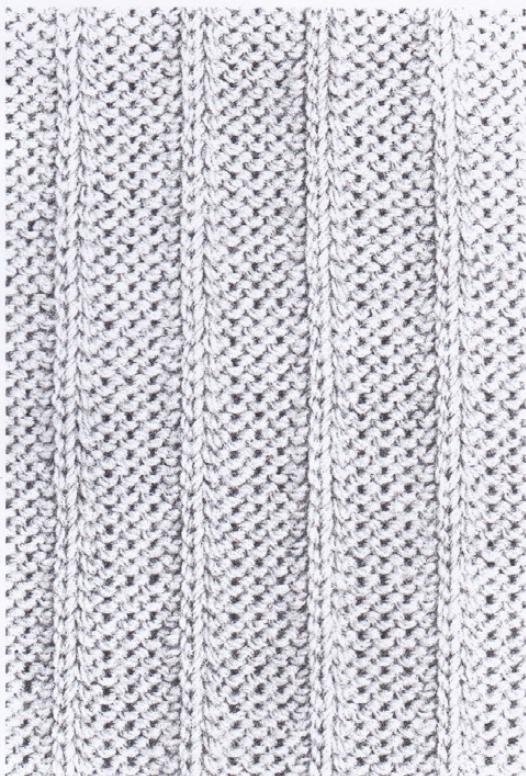
両頭針のメリヤス針のベラが  
片方にだけついています。



ガーター編みの時、任意の場所にこの片ベラ針を入れますと引き上げガーター編みが出来ます。

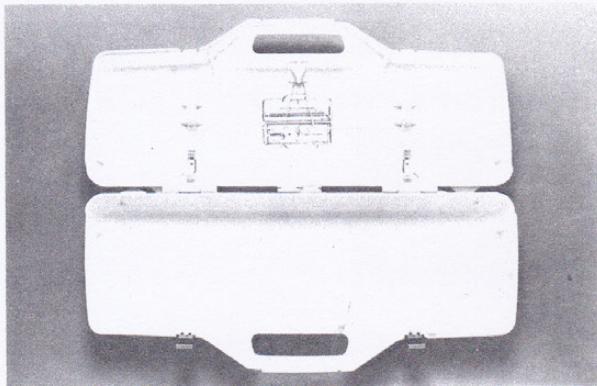
ベラのない側の頭を手前にしますと、キャリジが右から左へ動く時は編めないで横糸が渡ります。そしてキャリジが左から右へ行く時は、ベラのある側ですので、普通に編め1段引き上げが出来ます。

結局、両頭針の部分は、ガーター編みが出来、片ベラ針の部分が表目で引き上がった編地になります。

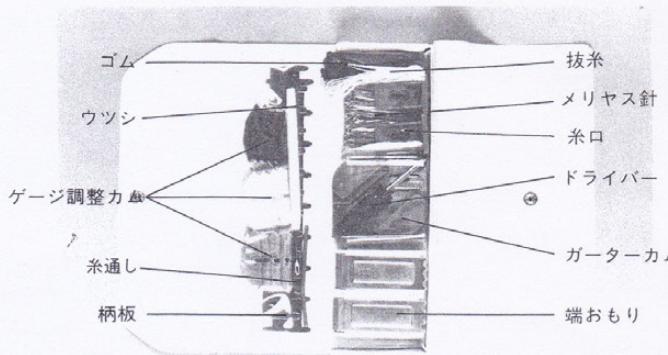


-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-

# ハマナカニードルのしまい方

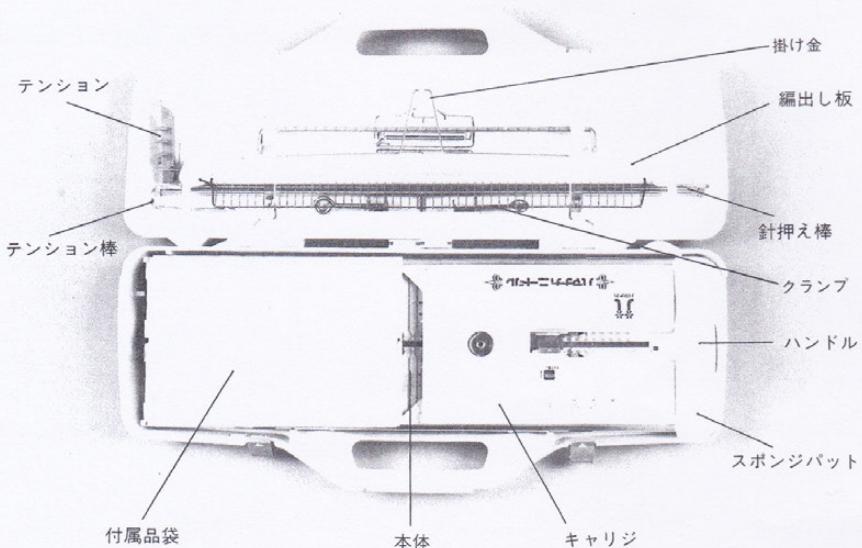


① 写真のようにケースを開けます。



② 付属品袋に付属品を順序よく納めます。

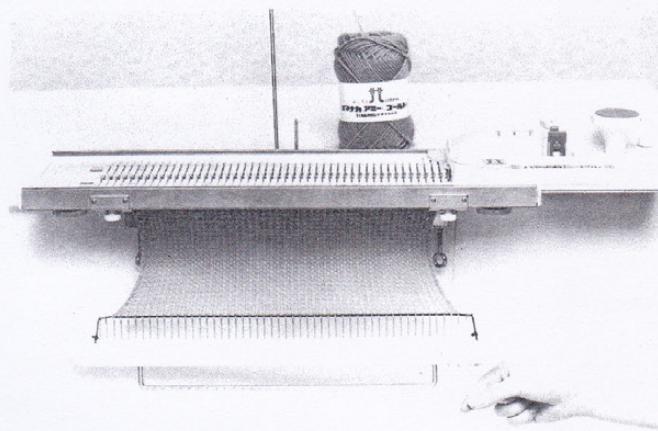
- ③ ケースの向う側に、クランプ・針押え棒・テンション・テンション棒・編出し板を順序よく納め、掛け金をかけて固定します。本体はキャリジをきっちりとはめ込んだまま、A板が手前になるようにケースに入れます。  
スポンジパットを置き、ハンドルをキャリジからはずして写真のようにねかせます。付属品袋も写真のように納め、ケースをしめます。



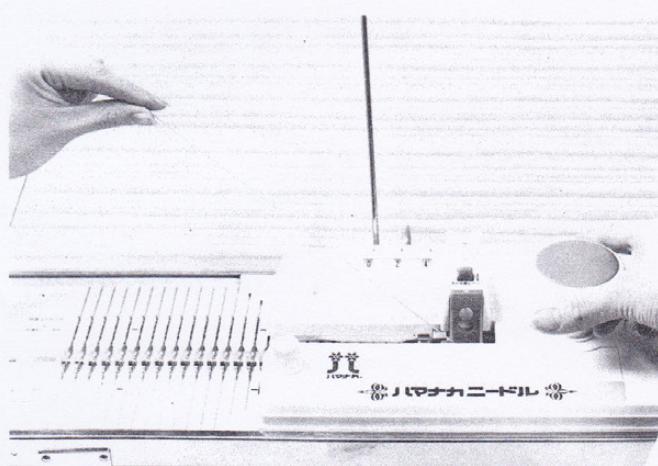
# 作品を編む前に知つておきたい事柄

## 抜き糸の使い方

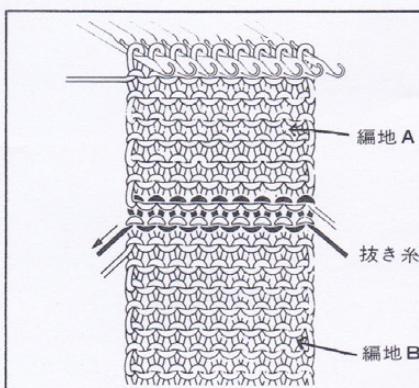
Aの編地とBの編地を離す場合には抜き糸を使用します。



①編んでいる糸を切り、本体のブリッジの内側の下から引きおろし、糸掛に巻きつけておきます。



②抜き糸を糸口からブリッジの内側を通して糸掛に巻きつけておきます。



③抜き糸を写真のように、手で支えながらキャリジを動かして1段編みます。

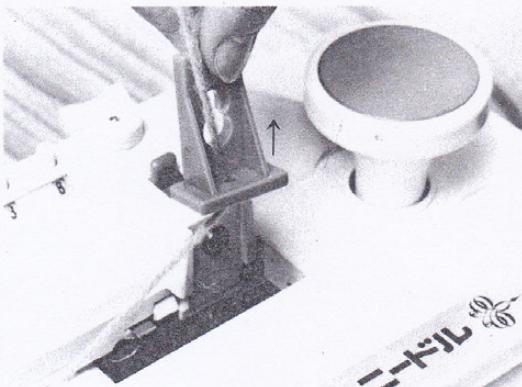
④編地Aの糸にかえて、編地Aを編みます。

⑤抜き糸を引き抜くとAの編地とBの編地は離れます。

## 配色をするときには

1. 編んでいる糸を再び使用しない場合(糸を切って色変えする方法)
  - 抜き糸と同じ要領でします。(前頁参照)
2. 編んでいる糸を再び使用する場合(糸を切らずに色変えする方法)
  - 2色、3色で編むときは別の糸口を使って編みます。

①糸口を取りはずします。

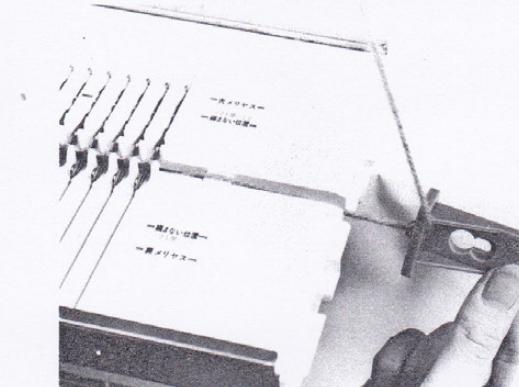


③糸がテンションの右側を通っている場合、糸口をテンションの右側のツノにかけ、糸がテンションの左側を通っている場合は本体の手前を通ってテンションの左側のツノにかけると、糸や糸口がじやまにならずに編めます。

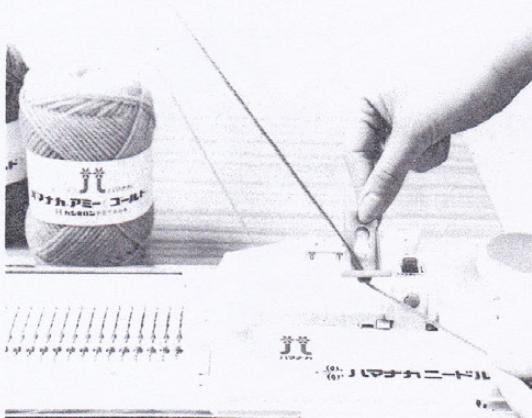
糸がテンションの右側を通っている場合

糸がテンションの左側を通っている場合

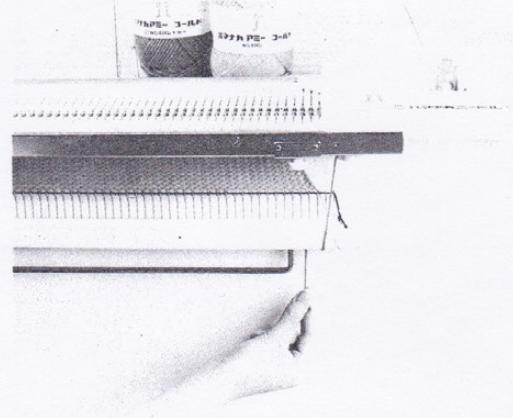
②キャリジをはずし、A板とB板の間のブリッジの上を渡します。

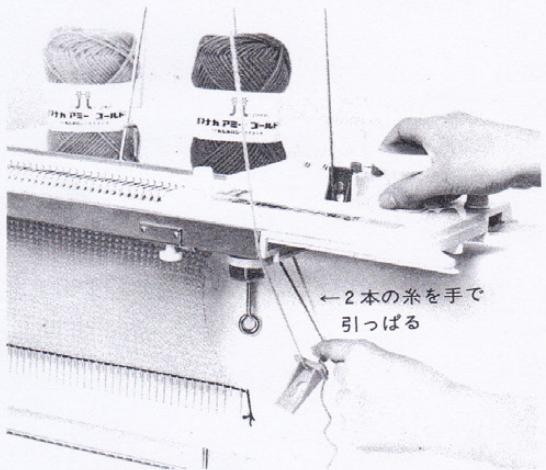


④新しい糸をテンションのあいている部分に通し、そして別の糸口(付属品として別に2個ついています)に通します。



⑤糸口をキャリジに取り付け、あいている糸掛けに新しい糸を巻きつけます(糸の経路はP.11を参照)。

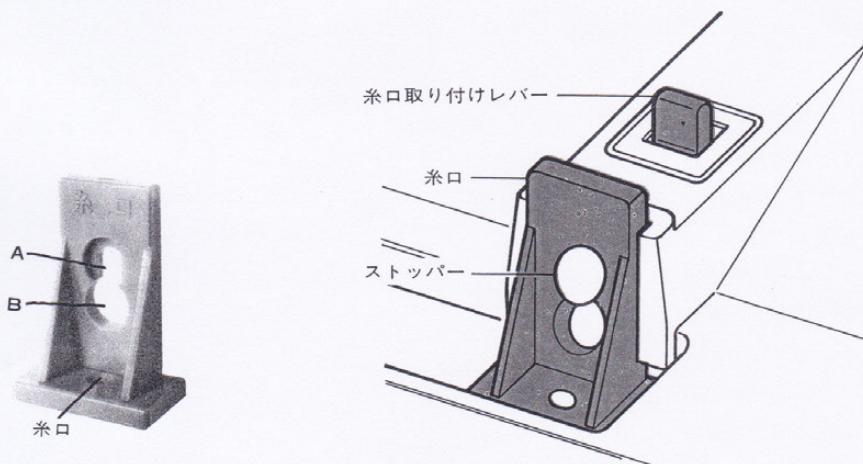
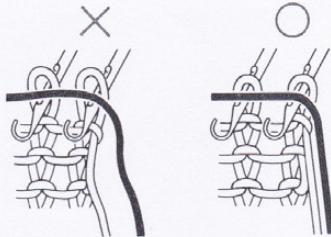




## 糸口のはずし方と取り付け方

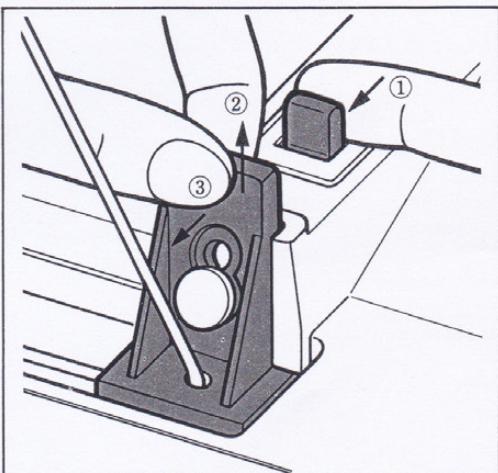
糸掛に巻きつけなくて編む場合は2色の糸を手で引きながらキャリジを左右に動かします。最低3段ぐらい編むまで糸を引っ張っています。

(注) 糸の張りがゆいと目が落ちる原因になります。



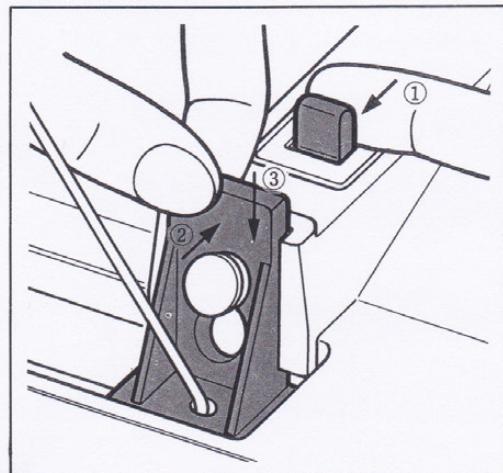
### はずし方

糸口取り付けレバーを手前に押し、糸口を上に引き上げ、ストッパーからはずします。



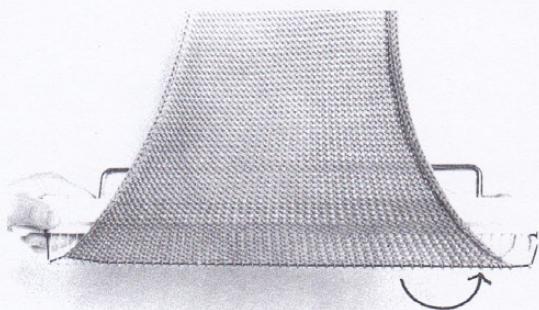
### 取り付け方

糸口取り付けレバーを手前に押し、糸口の⑤穴をストッパーにはめ、下へおろしレバーをはなします。



## 編出し板が下につかえるようになったら

編出し板はおもりの役目も兼ねていますので、下につかえておもりの働きをしなくなったら次の要領で編出し板を上へ上げて下さい。

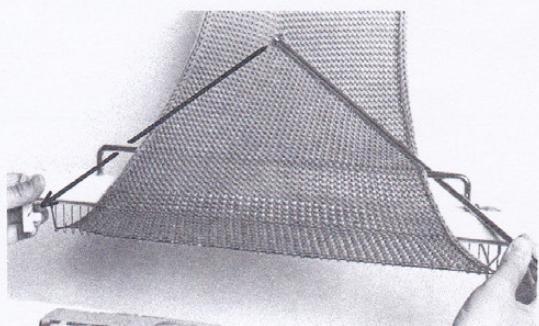


おもりがきかないと

1. 編目が落ちる
2. キャリジが動かない

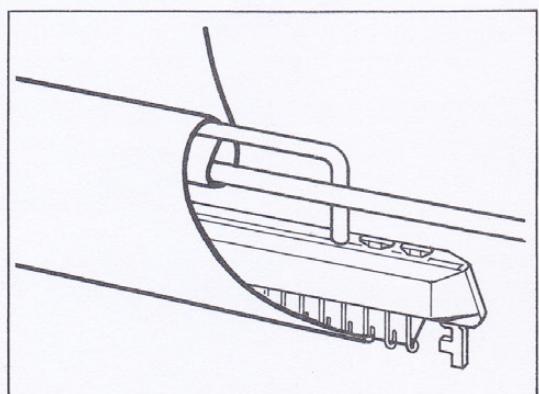
など、トラブルの原因になりますから充分注意してください。

編出し板を編地の向う側に半回転させます。

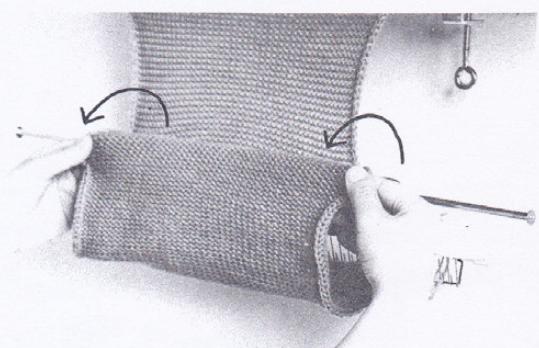
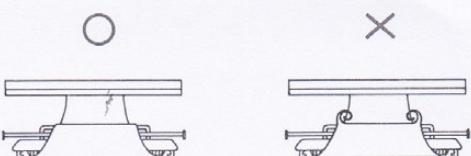


針押え棒を写真の要領で編出し板に差し込み、固定させます。

(編出し板が水平になるように固定させます)



- この時、編地がまるくなったり、片寄ったりしないよう編地の両端を外側へ引っ張ります。

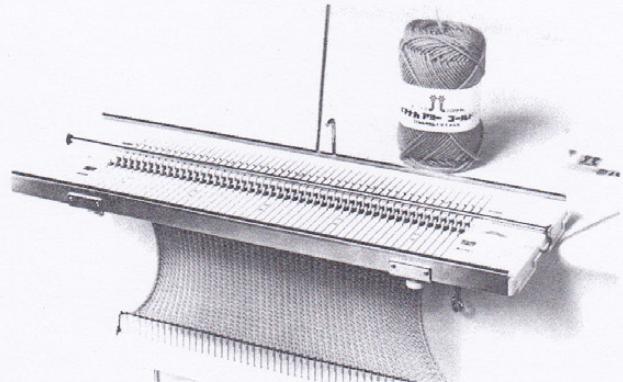


編み進んだときは手前に出ている編地の両端をたぐり寄せるように引いて、編出し板を更に上へあげます。

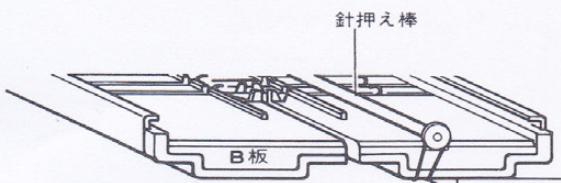
## B板のはずし方

出来上った編地を棒針にとったり、巻き止め等をする時は、  
次の要領でB板をはずします。

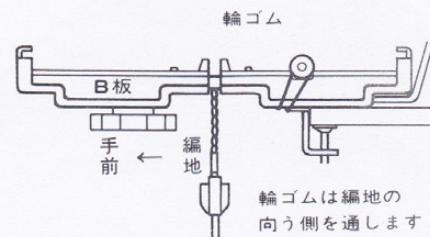
キャリジを本体からはずし、メリヤス針を  
全部A板の表メリヤスの位置にして、針押  
え棒を輪ゴムでA板にセットし固定させます。



### 針押え棒のセットの仕方



針押え棒は図のよう A板の山の向う側  
にセットします。



輪ゴム

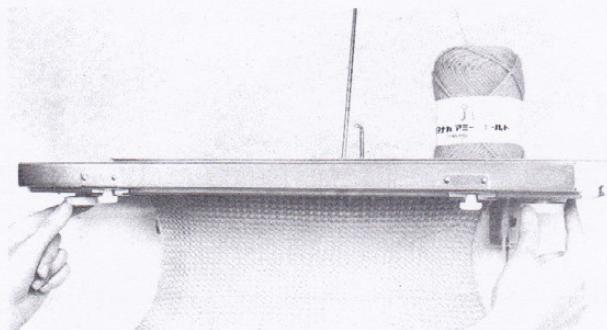
B板

手前 ←

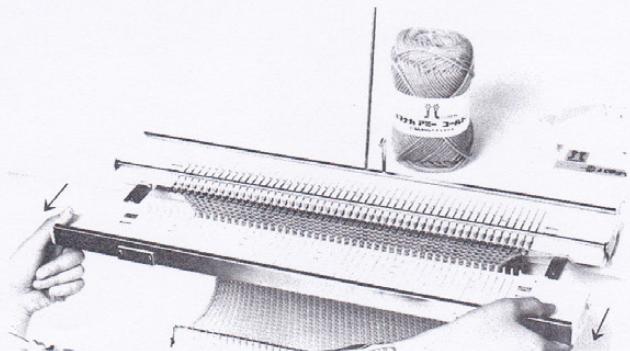
編地

輪ゴムは編地の  
向う側を通します

B板の下にあるB板つまみネジを両方共  
ゆるめます。

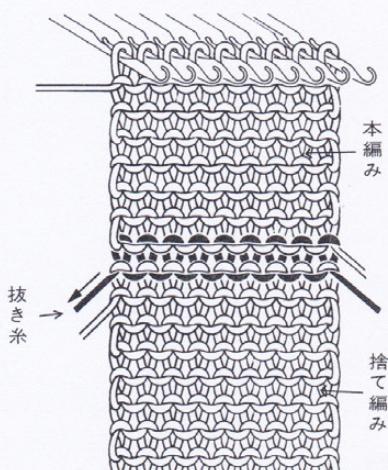


B板を両手で手前に引くとはずれます。



# 作品を編む上で基礎となる手法

## 捨て編み

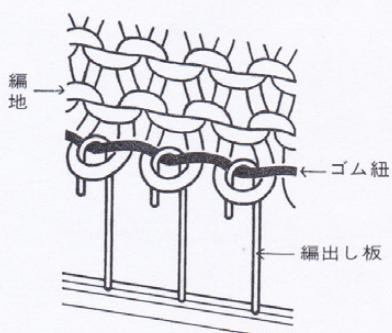


1段目の編目はくずれやすく、きれいに仕末ができませんので、作品を編む時は不要の糸で8~10段編み、抜き糸で一段編んでから本糸で編みます。

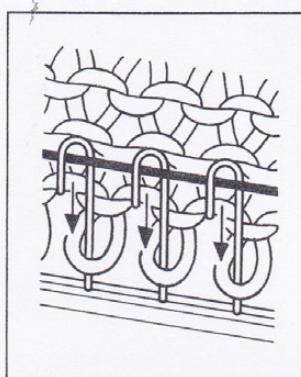
捨て編みをはずす時は、抜き糸を引くとはずれます。

編み終りも捨て編みを8~10段編んでから編地を機械からはずすと便利です。

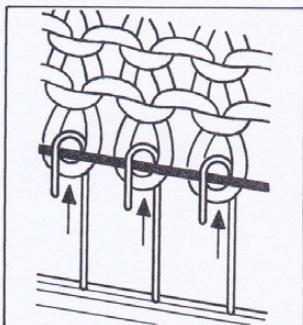
## 編出し板から編地のはずし方



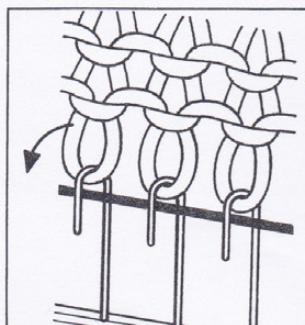
①ゴム紐を残し編地だけ下へさげます。



②編地を編出し板のフックの内側に添わしながら



③上へ引きあげ手前に落して編地をはずします。



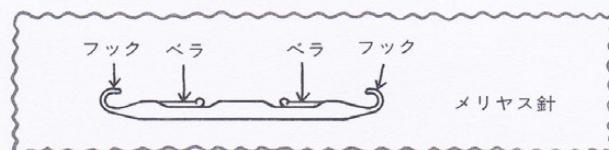
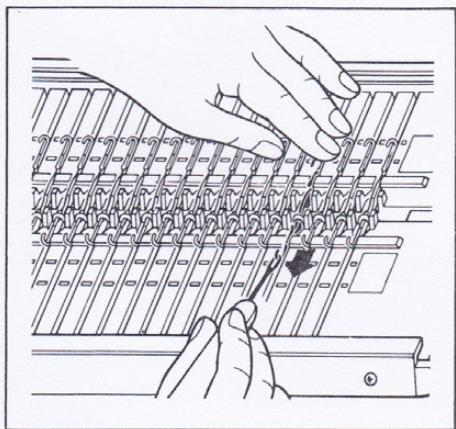
\*この時、編地の片端がまだはずれていませんのでハサミで切ります。  
また、捨て編みですので1段ほどいてもいいのです。

## ウツシの使い方

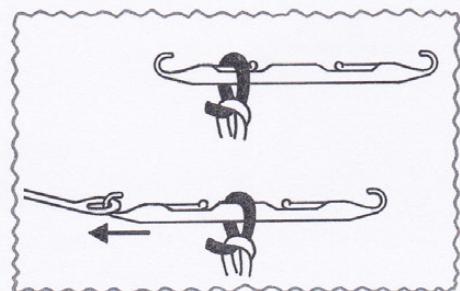
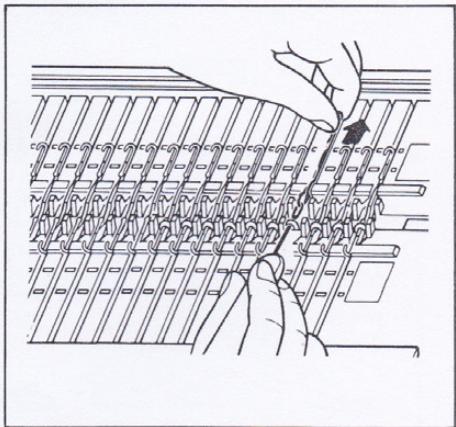
増し目、減し目、模様編みなど目の移動をする時は、ウツシを使います。

- 目の移動は編出し板を少し浮かせるとらくです。

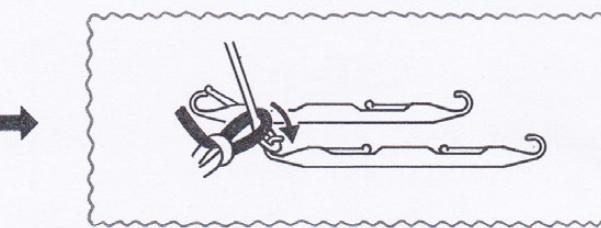
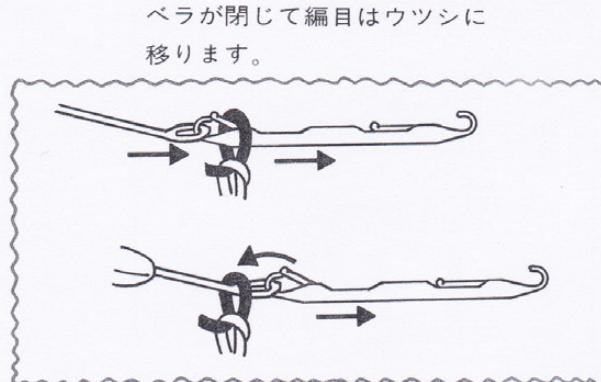
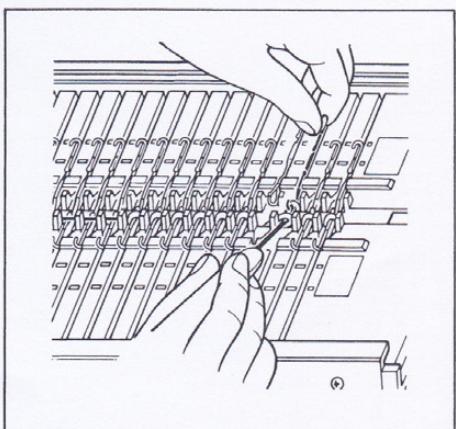
ウツシでメリヤス針を手前に引きます。  
(この時、メリヤス針が浮かないように一方の手で軽く押えます。)



次にメリヤス針を向う側へ押し、編目をウツシに移します。



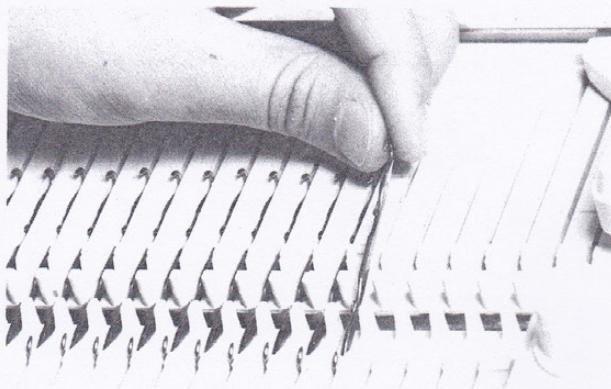
移したいメリヤス針に編目を移します。



## 増し目

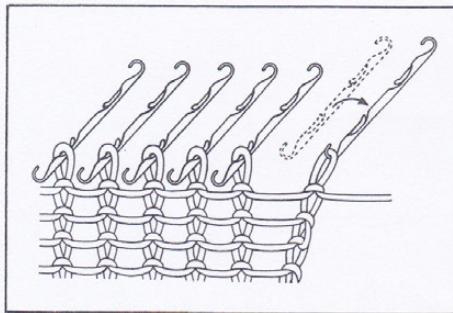
### 第1の方法

キャリジのある側でメリヤス針を一本溝に入れて編みます。

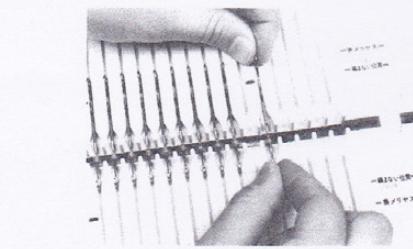
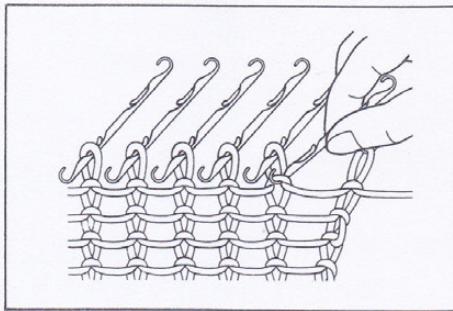


### 第2の方法(端の目を立てる場合)

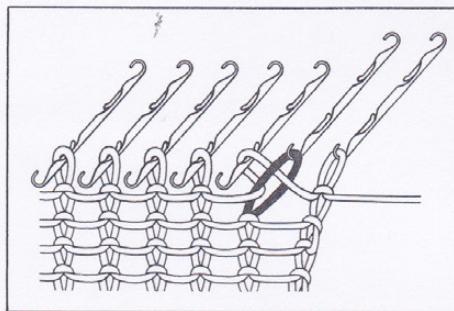
①端のメリヤス針を取りはずして、外側の溝へ移します。



②あいた溝に新しいメリヤス針を入れて  
1目中のメリヤス針の裏目をすくいます。



③すくった裏目を新しく入れたメリヤス  
針のフックにかけて編みます。

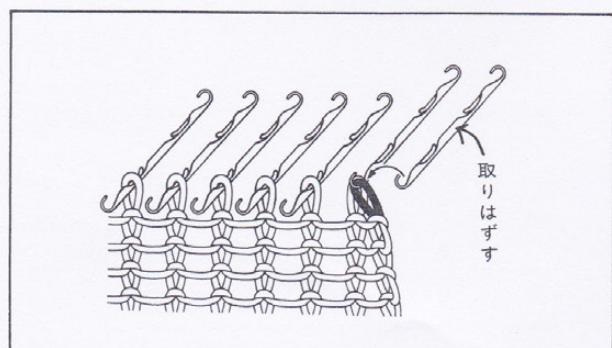


## 減し目

### 第1の方法

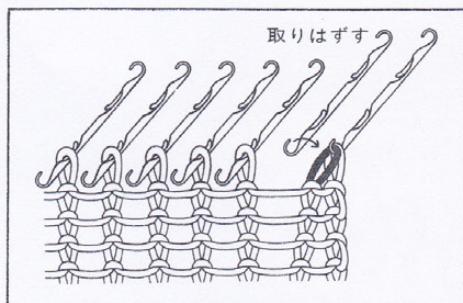
①端の目をウツシで2番目の編目に重ねてかけます。

②あいたメリヤス針を溝から取りはずしてから編みます。

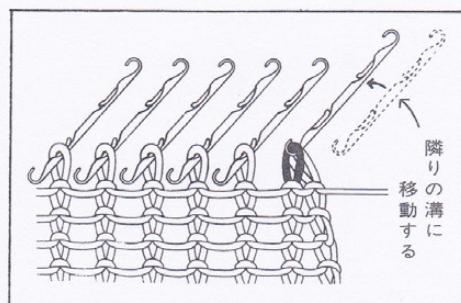


## 第2の方法(端の目を立てる場合)

- ①2番目の目を端の目に重ねてかけ、あいたメリヤス針を溝からはずします。

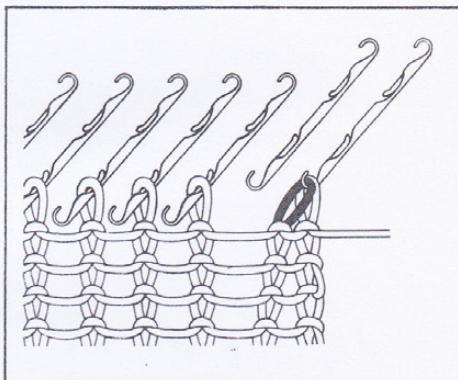


- ②端のメリヤス針を目をかけたまま、あいた溝に移します。

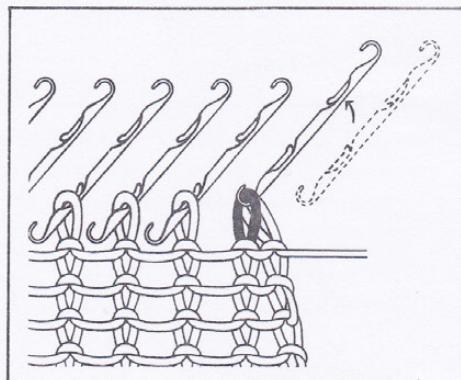


## 2目以上の減し目

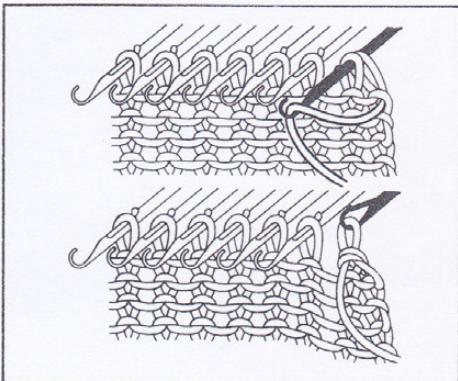
- ①キャリジのある側で行います。  
②2番目の目を端の目に重ねてかけ、あいたメリヤス針を溝からはずします。



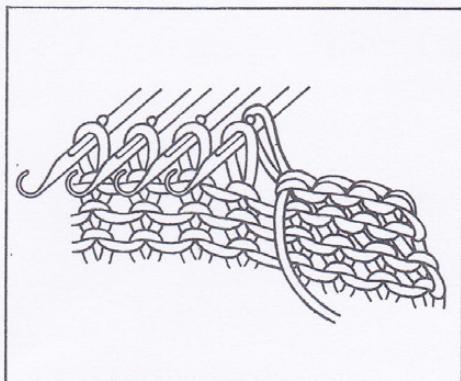
- ③端のメリヤス針を目にかけたままあいた溝に移します。



- ④移したメリヤス針を手前に出し、フックに編み糸を入れて元にもどすと重なっている2目がすべり落ちて1目減し目ができます。

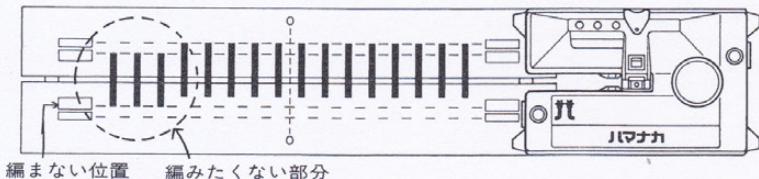


- ⑤同じ要領で必要なだけ減し目しますが最後の1目は目を重ねたまま(③の状態)で終ります。



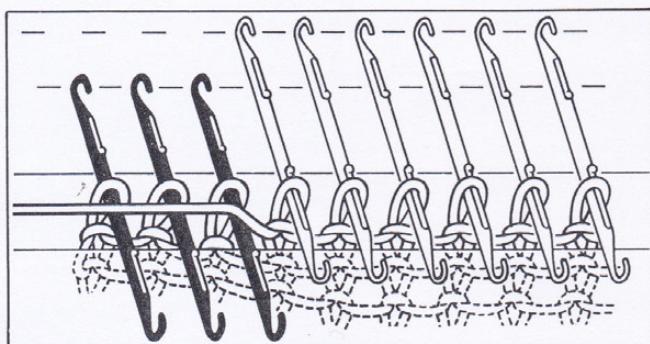
## 引き返し編み

引き返し編みをする時は、編みたくない部分のメリヤス針を編まない位置にして編みます。



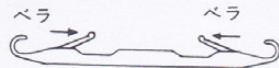
### 編む部分を減らしていく方法(編み残しの引き返し編み)

- ① キャリジと反対側の編まない針を編まない位置に出します。  
(上図参照)
- ② 1段編みます。



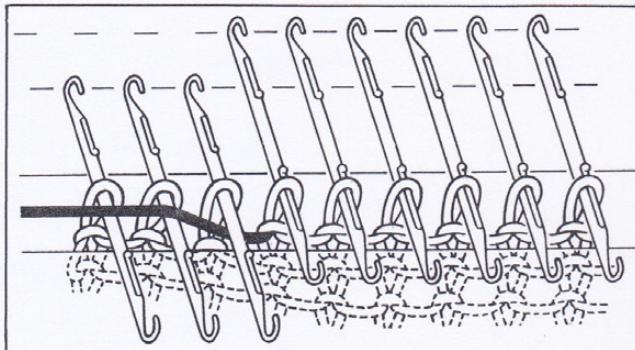
(注)

この編まない位置ではメリヤス針のベラは必ず開いているように注意して下さい。

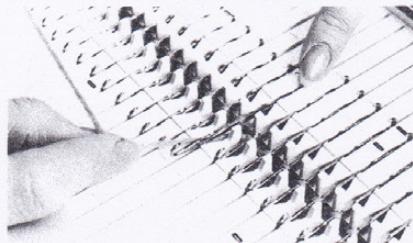


（ベラが閉じているとキャリジがベラにつかえ、針がいたみます。）

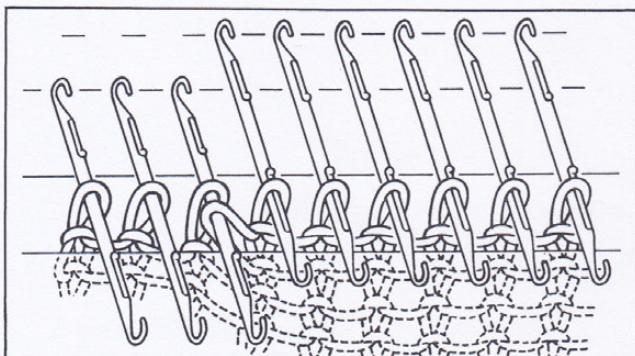
- ③ 穴があかないように編み終った隣の編まない位置にでているメリヤス針に糸を下からかけます。



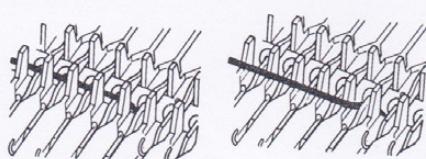
(注) メリヤス針の向う側のフックを軽く押えると、手前が少し上に浮き、糸を下にかけやすくなります。



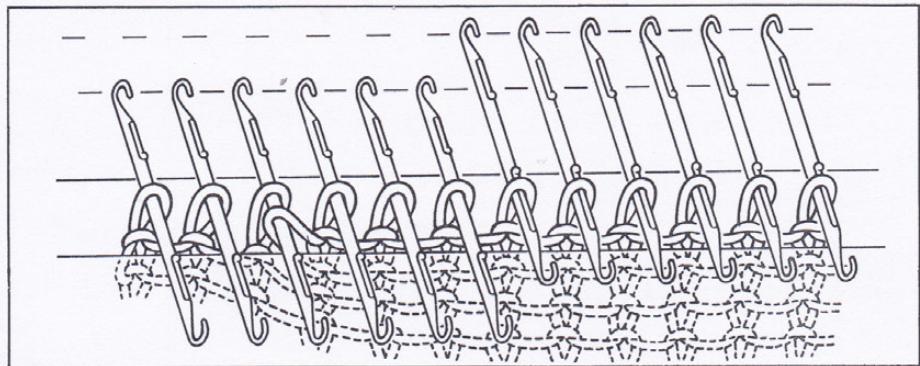
- ④ 1段編みますと1回の引き返し編みができます。



下にかけた糸は必ずA板・B板の間から出して下さい。



⑤順次編まない位置に出す  
メリヤス針を増して編みます。

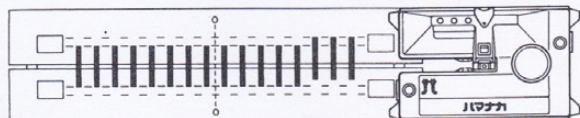


⑥引き返し編みが終ったら編まない位置にでているメリヤス針を元の位置にもどします。

### 編む部分を増やしていく方法

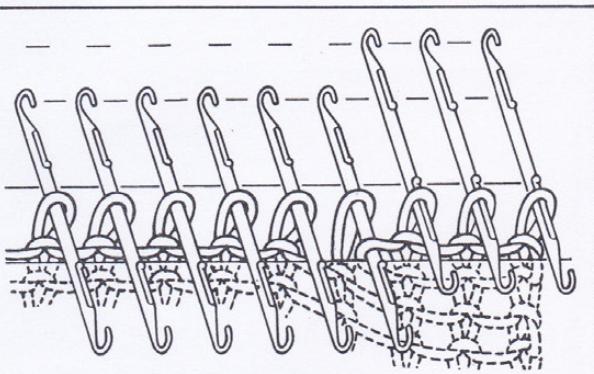
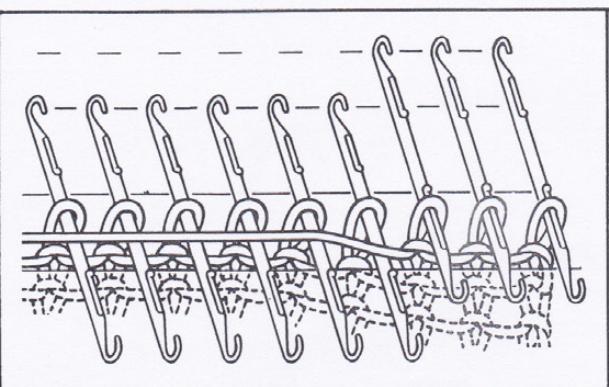
(編み進みの引き返し編み)

①キャリジ側の最初に編むメリヤス針を表メリヤス位置(又は裏メリヤス位置)に置き、その他のメリヤス針を編まない位置にだします。

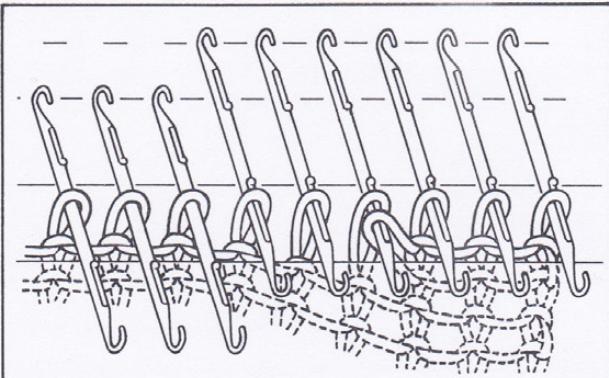


③穴があかないように編み終った隣のメリヤス針の下から糸をかけ1段編みます。

②1段編みます。



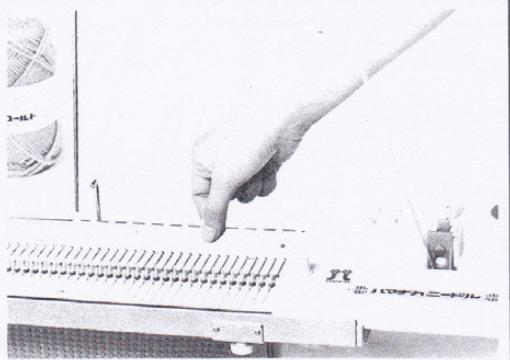
④編まない位置にあるメリヤス針を編みふやす分だけ表メリヤスの位置にもどして3段目を編みます。



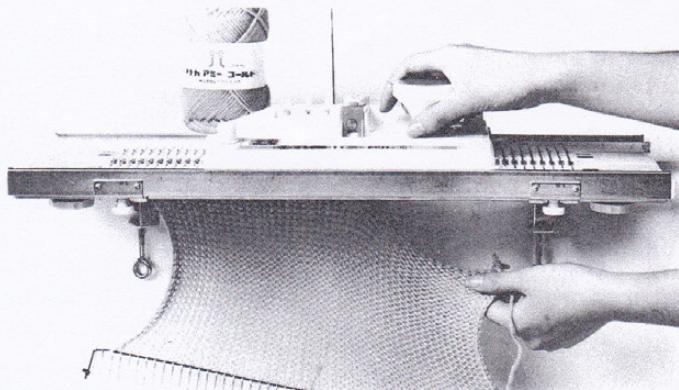
### \*ガーター編みの引き返し編み

ガーターカムをはずして、手で針の移動をしながらガーター編みをして下さい。

(ガーターカムを取り付けている時は引き返し編みができませんので注意してください。)

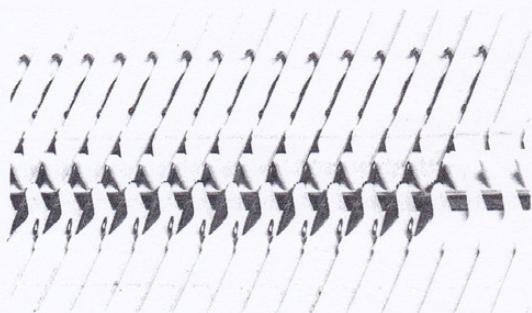


## 編地を本体からはずすとき

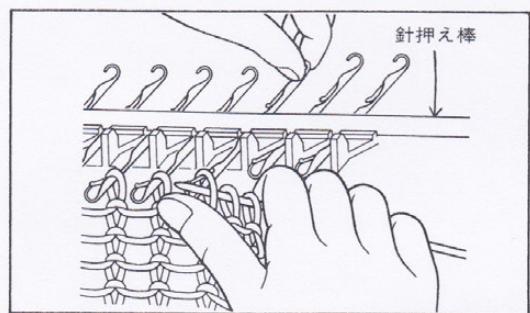


編み終った編地は別糸で捨て編みを8~10段してから、糸口の糸をはずしてキャリジを動かすとはずれます。

仕末の仕方によっては編目を棒針にとってはずすこともあります。



編目がベラの向うにいくようにしてからメリヤス針を表メリヤスの位置にそろえ、B板をはずします。(B板のはずし方参照)

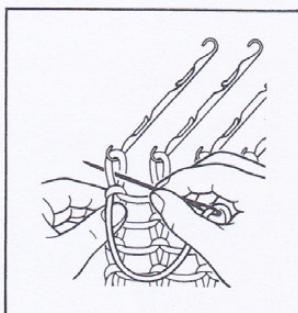


右端の目から棒針で、編目をすくうようにとります。

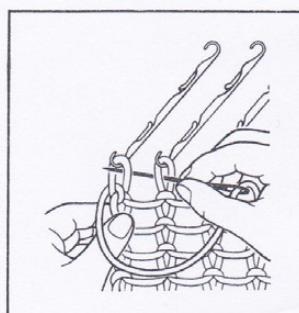
- ①左手でメリヤス針を持って安定させます。
- ②右手の棒針を、右端の目の向う側から手前に通します。
- ③右手の親指と左手でメリヤス針を押し、棒針を手前に引いて編目を次々に棒針にとります。

### 巻き止めをしてからはずす

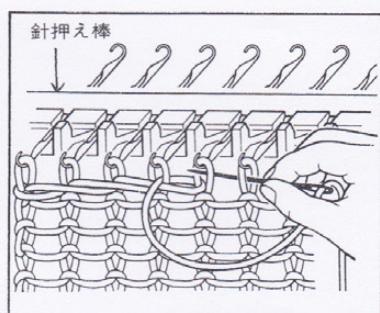
編地をメリヤス針にかけたまま、糸端を編地の幅の3倍ほど残して切り、その糸をとじ針に通しておきます。左側で編み終るようにすると便利です。次にB板をはずします。



- ①端の編目にとじ針を手前から入れて軽く糸を引きます。



- ②2番目の編目に手前からとじ針を入れてそのまま左の編目を裏側から手前に通して軽く糸を引きます。



- ③①・②の方法をくり返して全部の編目に2度ずつ針を入れて巻き止めが終りましたらはずします。

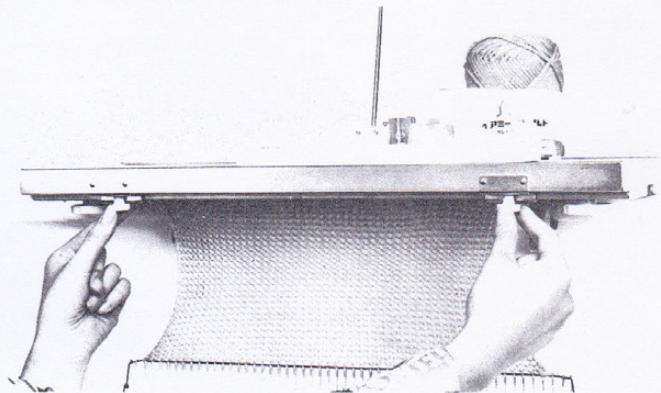
## キャリジが途中で動かなくなったとき

キャリジが途中で動かなくなったときには無理に動かさないで次のようにします。

1. 少しキャリジをもどし(1~2針分)もう一度前に進めてみます。

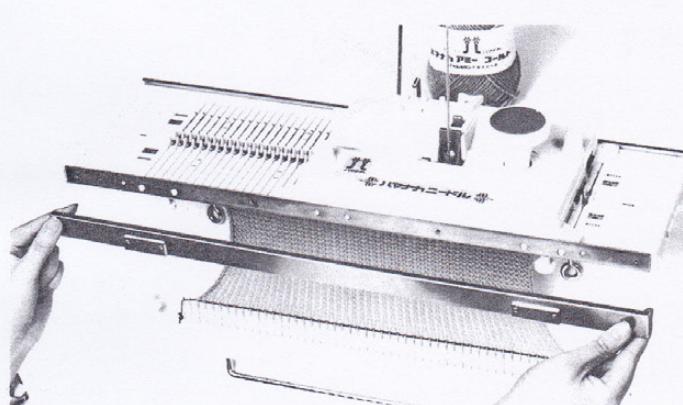
(注意: もどしすぎると編目が落ちます。)

2. それでも動かない時は



①本体B板の下にあるレール

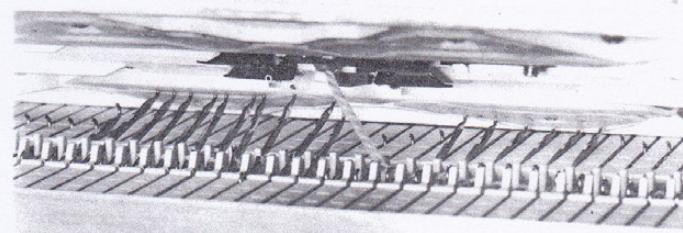
つまみネジをゆるめます。



②レールをはずします。



③キャリジをあまり持ち上げない  
で、静かに前後に動かし、キャ  
リジの裏側のミゾにかかってい  
るメリヤス針をていねいにはず  
します。

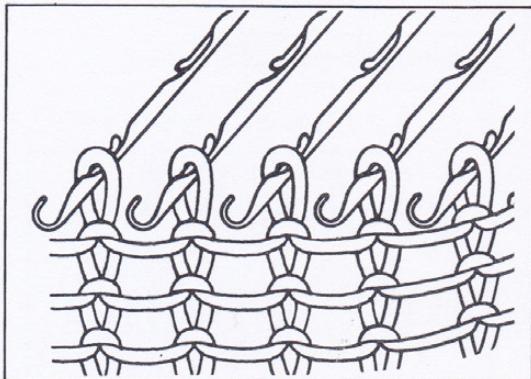


前後に静かに動かします。

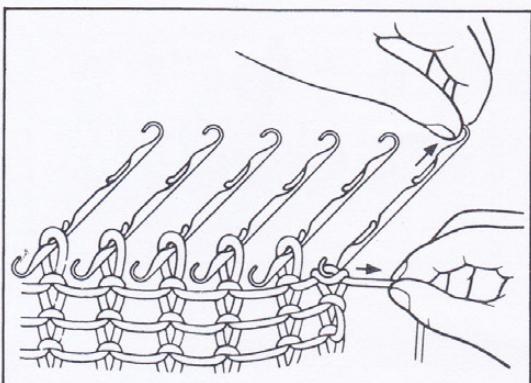
④途中まで編んだ編目をほどき、メリヤス針を正常の位置位置に並べます。

⑤レールをはめ、ネジで押えます。キャリジを本体の糸のついている側にとりつけ、もう一度編みます。

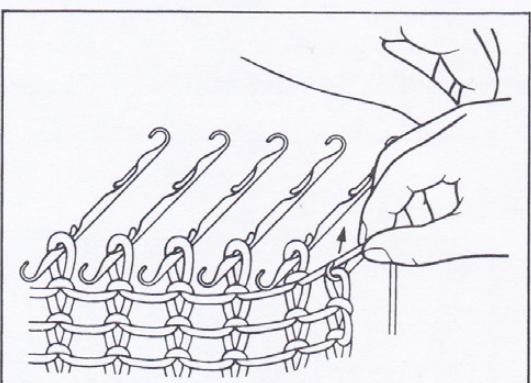
## 編地のほどき方



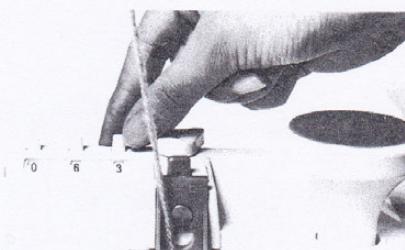
編目がフックとベラの間にあることを確認してから



左手でメリヤス針を軽く押え、編み終りの糸を編地と平行に引きながら



ベラを開くように、糸を斜め向うに引き上げると1段下の目がフックにかかりますので、メリヤス針を元の位置に戻します。



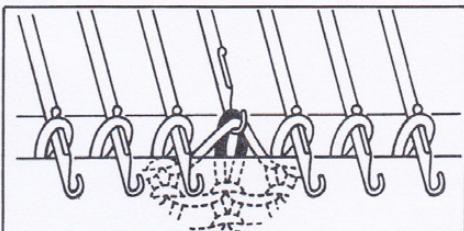
ほどいた段数だけ段数計の数字をもどします。

## 編んでいる途中で編目が落ちたとき

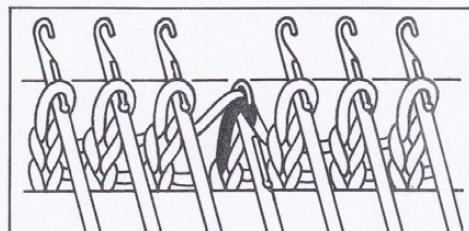
### 1段落ちたとき

#### 表メリヤスの場合

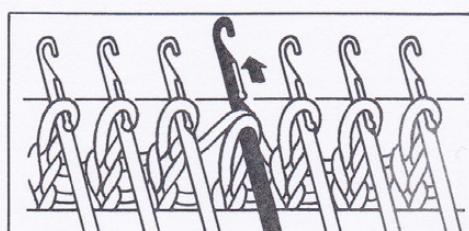
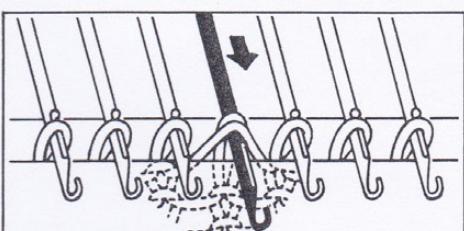
① 1段下の編目と落ちた目の横糸をいっしょにウツシでメリヤス針のフックにかけます。



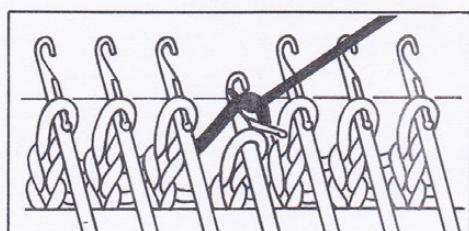
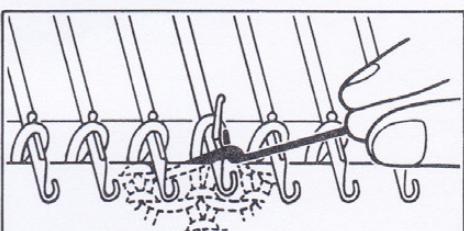
#### 裏メリヤスの場合



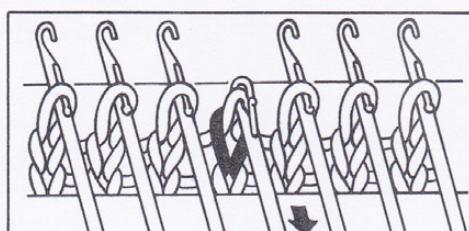
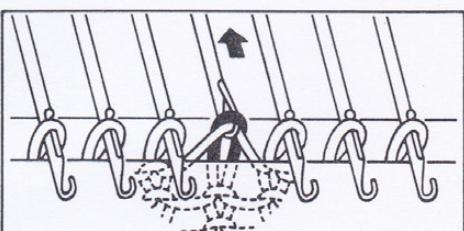
② メリヤス針を前に出してその編目をベラのうしろにずらします。



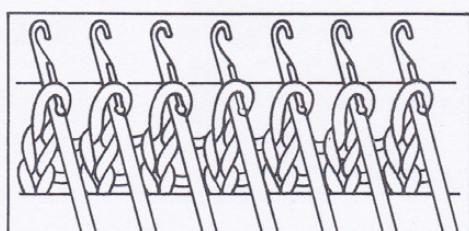
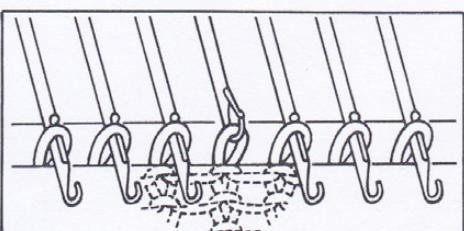
③ 横糸だけをフックに移します。



④ メリヤス針を戻すとベラのうしろの編目がメリヤス針からすべり落ちます。



⑤ 新しい編目ができます。

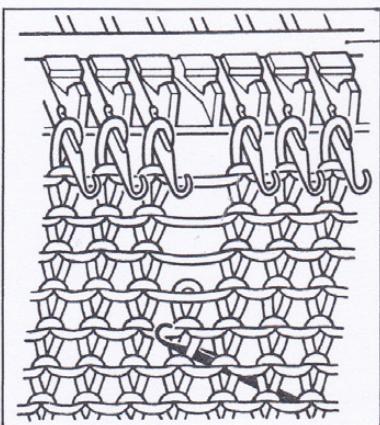


## 数段落ちたとき

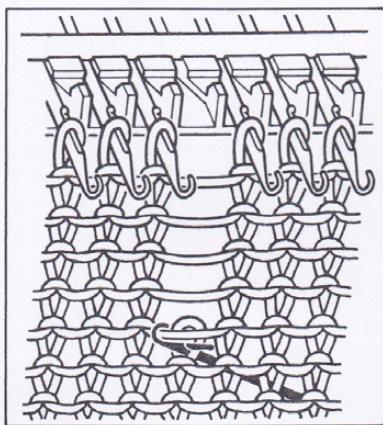
### 表メリヤスの場合

B板をはずします。

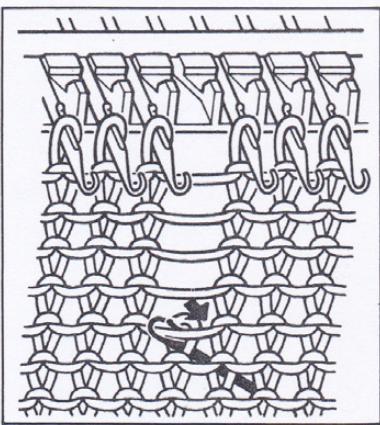
- ①編地の向う側からメリヤス針で落ちた編目の下の編目をすくい、目をほどきます。



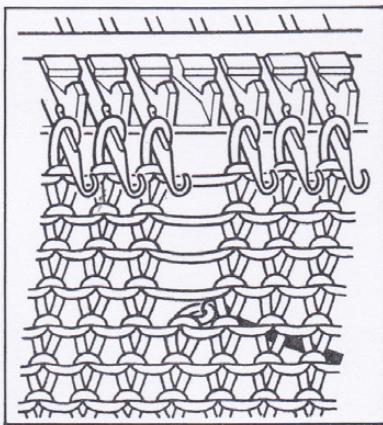
- ②メリヤス針を手前に出し、すくった編目をベラのうしろにずらせてその上の段の横糸をフックにかけます。



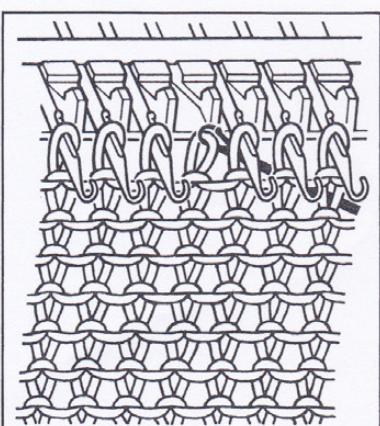
- ③メリヤス針をうしろへ引くとベラが閉じて、横糸はフックに閉じ込められ



- ④ベラのうしろにあった編目がすべり落ちて新しい編目ができます。

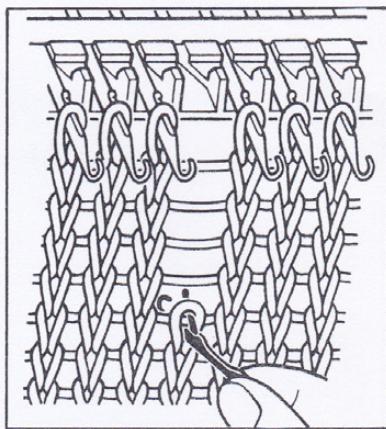


- ⑤これをくり返して一番上の段まで編みます。



- ⑥そのままメリヤス針を本体の溝に納めます。

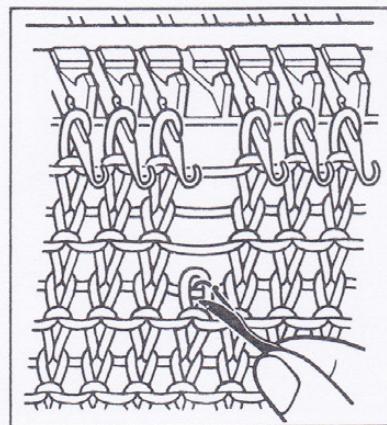
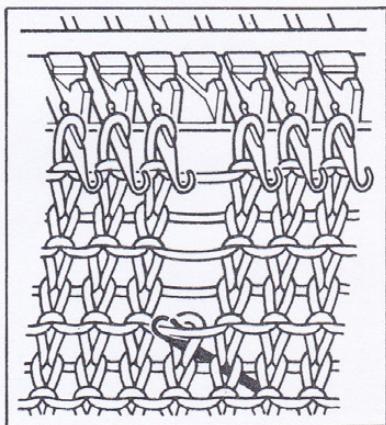
### 裏メリヤスのとき



編地の手前からメリヤス針で編みます。  
以下表メリヤスのときと同じ方法でします。

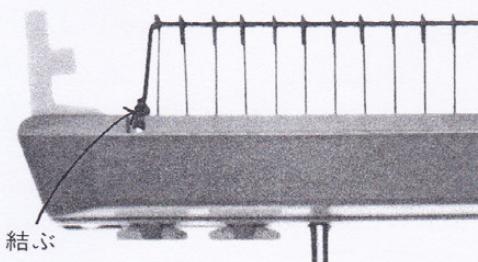
### ガーター編みのとき

表メリヤス、裏メリヤスのときの目の捨い方を応用して一本のメリヤス針でします。



### 編出し板のゴム紐の交換のしかた

ゴム紐を新しいゴム紐と交換する時は、次の要領でします。



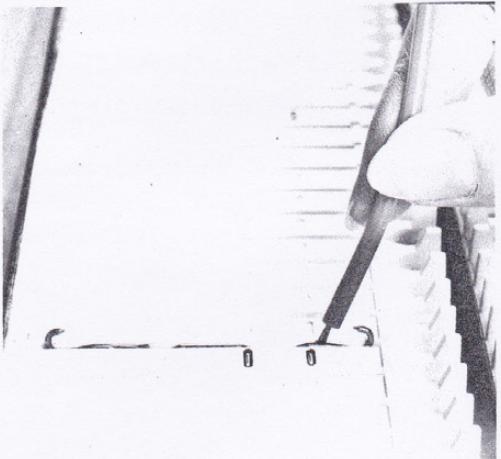
ゴム紐の張り加減はたるまない程度に  
ゆるく張って通します。

## メリヤス針の修正のしかた

メリヤス針のベラが曲ってフックとうまくかみ合わなくなるとスムースに操作ができなくなるので次のようにしてベラを正常な位置に直します。

1. 曲ったベラのついているフックを手前にして本体のA板の溝に入れます。

2. 糸通しの柄の方の穴に曲ったベラを差し込みます。この時差し込み方は、ベラの曲っている箇所により調整します。



3. 糸通しを右又は左に動かすことにより、曲ったベラをまっすぐに直します。

### 正常なメリヤス針の見分け方

#### 1. 針の曲り



○上下曲りはキャリジとフックがうまく噛み合わなかったり、フックの頂点がキャリジに当るなどのトラブルとなります。

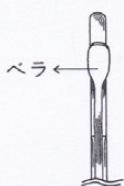


○左右曲りは針の動きが重くなり、また針間隔が狂い、編地にも影響します。針本体だけでなくフック部分だけ曲ることもあるので注意が必要です。

#### 2. ベラ運動

針を垂直に立て軽い振動を与えるとベラは自然に落下しなくてはいけません。自重で動かない場合は、ベラが曲っているか、ゴミが溝の中に詰ったりしている場合です。

#### 3. はめ合い

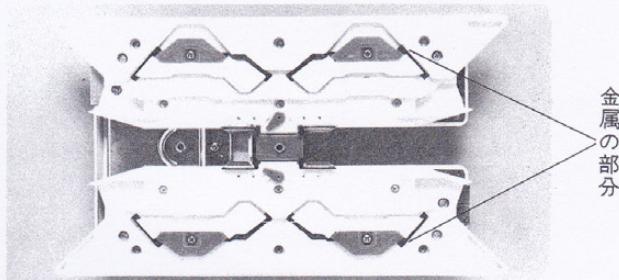


ベラは針・フックの中心にかぶさって、フックの先端がベラスプーンの中にきちんと入っていないくてはいけません。ベラやフックが曲っていると、うまくかぶさらないことになります。

# ハマナカニードルの手入れと保存

## ハマナカニードルの手入れ

- 糸くず等が本体の溝やキャリジの裏についていると、スムースにキャリジが動きませんのでブラシ(古くなった歯ブラシ等)で、はらい落して下さい。
- キャリジの動きが重いときは、ハマナカニードルスプレー(別売)を使います。まず、布にハマナカニードルスプレーを浸ませ、キャリジの裏や本体の溝板の上部を軽くふきます。  
ただし、キャリジの裏の金属の部分(写真参照)は、ロウを軽く2~3度こすりつけるようにして塗って下さい。



(注) ハマナカニードルには、市販されている油性の潤滑液を絶対に使用しないで下さい。



## メリヤス針の保存

メリヤス針の袋に入っている油紙(茶色の紙)は、捨てないで下さい。針を保存している間のサビ止めになります。

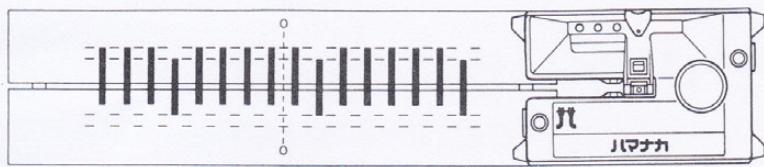
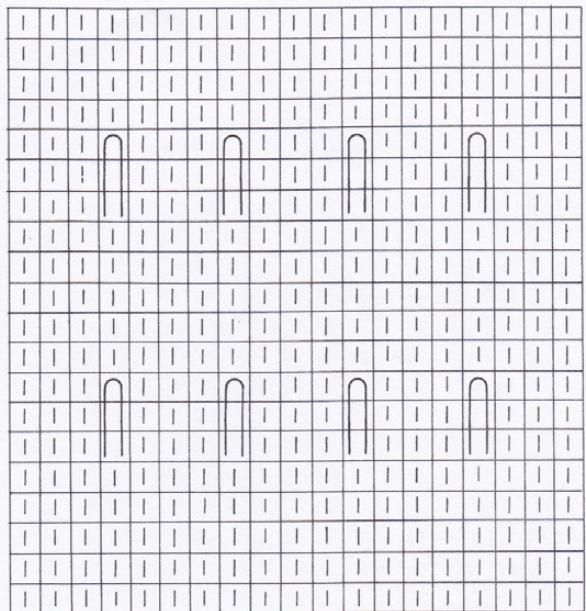
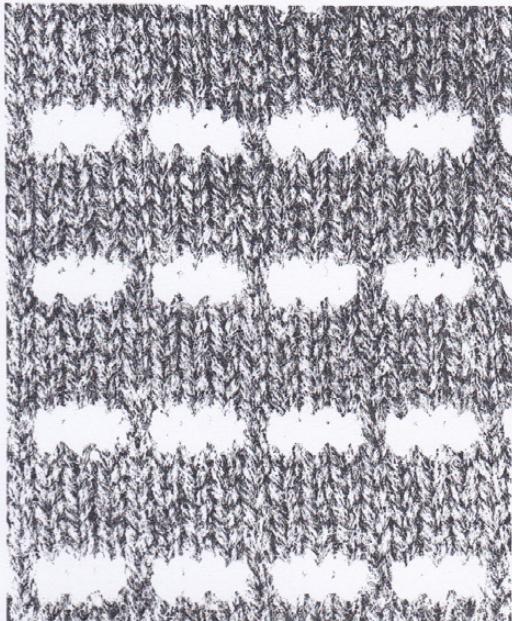
## 専用附属品の販売について

ハマナカニードルの下記専用附属品も別売しています。

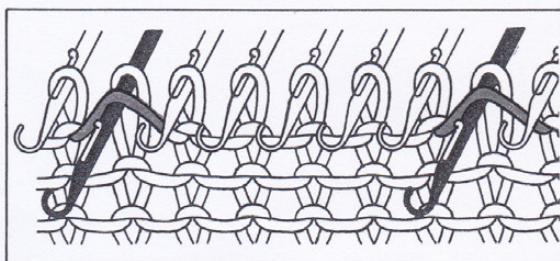
- ・メリヤス針(両頭針)
- ・メリヤス針(片ベラ針)
- ・ゲージ調整カム
- ・端おもり
- ・針おさえ棒
- ・糸通し
- ・ウツシ
- ・ハマナカニードルスプレー
- ・編み台



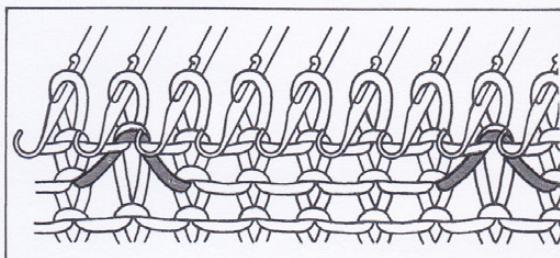
## 引き上げ編み



(1) 引き上げたいメリヤス針を編まない位置に出します。この時、メリヤス針のベラは必ず開いているようにします。



(2) そのまま、1段編みますと編糸は引き上げたいメリヤス針の上を渡ります。

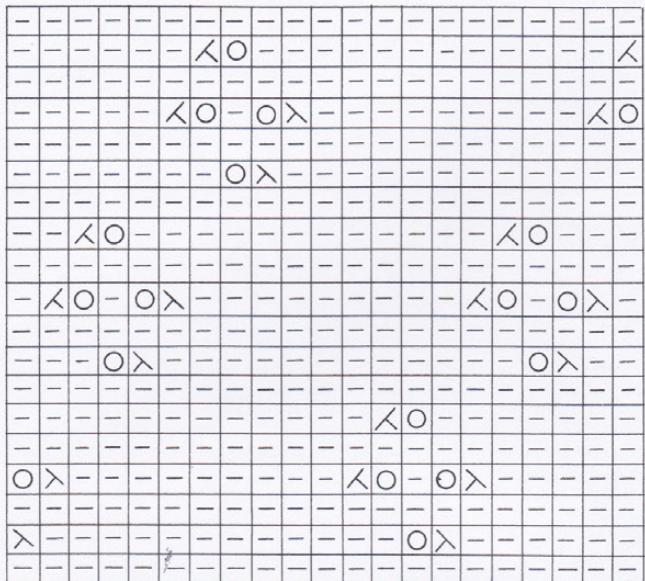
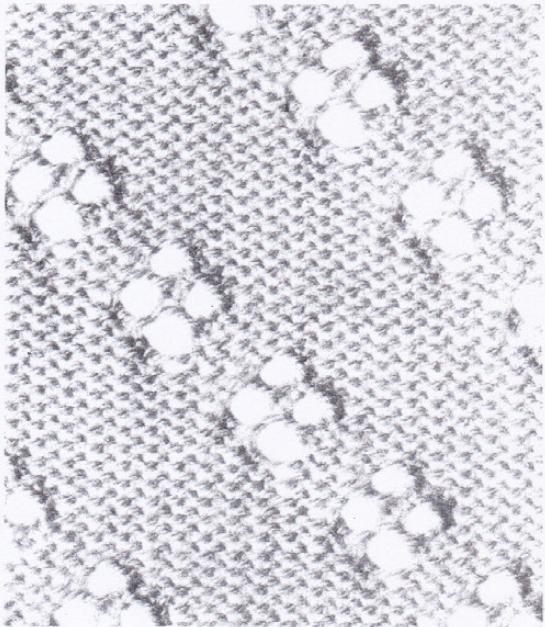


(3) 引き上げたいメリヤス針を元の位置にもどして1段編みます。これで1段引き上げ編みが出来ます。

2段引き上げ編みの場合は(1)の状態で2段編みます。

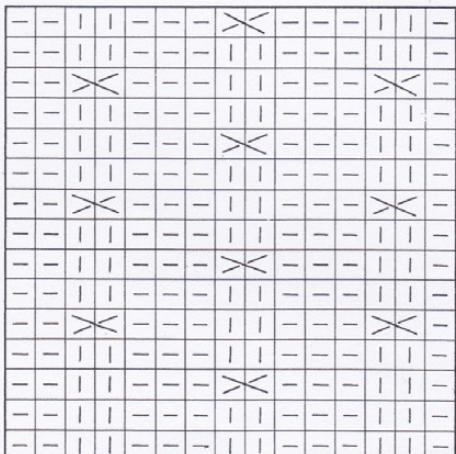
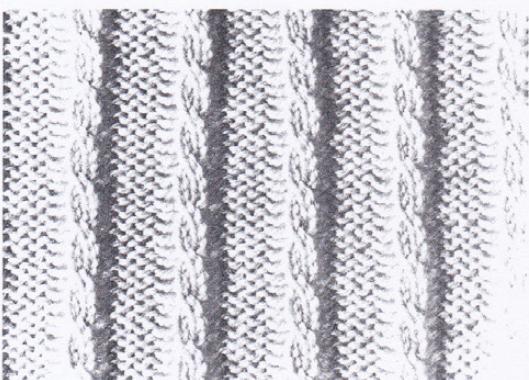
## 透し柄

ウツシを使って編目の移動をすることにより、いろいろな透し柄ができます。

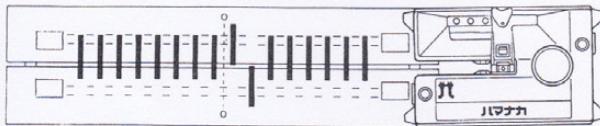


## 交差

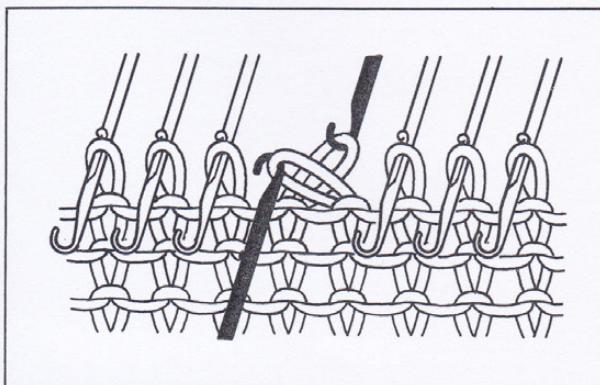
[1目交差]



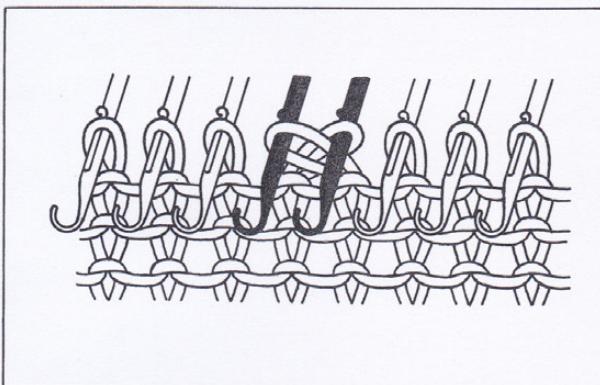
## (交差の方法)



(1) 交差させる編目のうち、図のように上になる編目のメリヤス針をA板に下になる編目のメリヤス針をB板に移します。この時、編目をフックの中に入れて下さい。

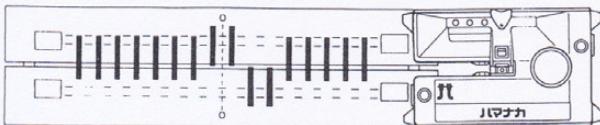


(2) そのまま、ウツシと左手を使ってそれぞれのメリヤス針は横に移動し、編目を交差させます。



(3) メリヤス針を元の位置にそろえて編みます。

## [2目交差]

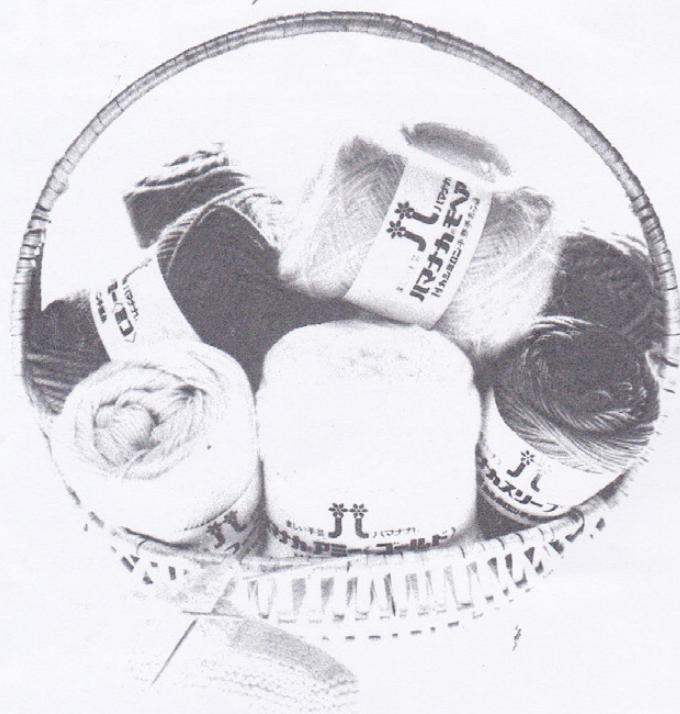


図の様にメリヤス針を移し、1目交差の方法に準じて2目交差を行ないます。

**旭化成J(マナカ)手芸手あみ糸の特長と用途**

品種	構成	規格		特長	用途
		g	色数		
パマナカアンタリヤ	レーヨン(アンタリヤ) 100%	100m	54色	春夏の本格的手芸糸 ラフな感覚で色彩が美しい。	バッグ・インテリヤ 帽子等
パマナカアンタリヤ 〈カラフル〉	レーヨン(アンタリヤ) 100%	100m	7色	アンタリヤの段染めタイプ カラフルな色彩が特長	バッグ・インテリヤ 帽子等
パマナカイタリアン	レーヨン……………95% ナイロン……………5%	50g	53色	糸に丸味があり、ボリューム感 満点、さわやかなタッチは春夏 手芸に欠かせない存在	のれん等のインテリ ヤ・バッグ・帽子等
パマナカイタリアン 〈カラフル〉	レーヨン……………95% ナイロン……………5%	50g	12色	イタリアンの段染めタイプ 楽しいカラーは抜群	バッグ・帽子・イン テリヤ等
パマナカイタリアン 〈太タイプ〉	レーヨン(アンタリヤ) 100%	50g	20色	イタリアンの太タイプ、早く編 めて、作品にボリューム感	のれん・バッグ・帽 子等
パマナカイタリアン 〈メタリック〉	レーヨン……………85% ポリエステル……………15%	50g	11色	メタリックタイプのブランド品	バッグ・帽子・イン テリヤ等
パマナカイタリアン 〈パール〉	レーヨン……………85% ポリエステル……………15%	50g	5色	格調あるパールの輝き	バッグ・帽子・イン テリヤ等
パマナカ・アイリー	レーヨン(アンタリヤ) 100%	50g	25色	強度があり、カラフルで光沢が ある春夏の高級手芸糸	バッグ・インテリヤ 帽子等
パマナカ・シルキー 〈ゴールド〉	アクリル(カシミロン)…45% 毛……………30% ナイロン……………25%	25g	35色	春・夏・秋スリーシーズン、ウー ル混紡タイプの高級ウェア素材	ウェア・その他
パマナカ・シルキー 〈スラブ〉	アクリル(カシミロン)…60% 綿……………40%	25g	27色	スラブヤーンの代表銘柄糸、腰 が強く、スラブが安定している。	ウェア(特にヤング のスポーティなウェ ア)・その他
パマナカ・シャレー	アクリル(カシミロン)…55% キュプラ(ベンベルグ)…45%	25g	30色	綿ライクの特性を持った、スリ ーシーズンの高級ファンシーヤ ーン	ウェア(スリーシー ズンのファンシーウ エア)・その他
パマナカ・ピューリー	アクリル(ピューロン) 100%	25g	24色	綿の光沢、軽さ、風合い、最高 級手芸糸	ウェア(特に高級ウ エア)
ロイヤルレース糸	綿……………100%	#20 50g #40 10g #40 50g #40 100g (ケース入)	32色 31色 31色 1色(白)	色の美しさ、高級レース糸	テーブルクロス・ひ じ掛け・ドライヤー ・その他
パマナカ・ラメ	ナイロン……………65% テトロン……………35%	500m巻		丈夫で、発色が美しい	ウェア・ショール ・その他

品種	構成	規格		特長	用途	
		g	色数			
ハマナカモヘア	アクリル(カシミロン)…70% 毛(モヘア)……………30%	25g	63色	極細タイプのモヘア起毛糸 ソフトな感覚と豊富な色数 が特長	ショール・ストール・ カーディガン・セーター・その他ウェア全般	
ハマナカミリオンモヘア	アクリル(カシミロン)…60% 毛(キッドモヘア)……………40%	45g	25色	並太タイプの高級モヘア糸 糸腰、弹性は抜群	ツーピース・ワンピース・カーディガン・セーター等ウェア全般	
ハマナカスリーフライ	アクリル(カシミロンコンジュゲート)70% 毛(メリノウール)……………30%	25g	54色	極細タイプのウール混紡糸 独特な風合い、ソフトな肌ざわり	ベビーもの・子供もの カーディガン・ブルオーバー・その他ウェア全般	
ハマナカフォープライ	アクリル(カシミロンコンジュゲート)70% 毛(メリノウール)……………30%	50g	76色	中細タイプのウール混紡糸 洗濯しても伸縮しない加工	ツーピース・ワンピース・ジャンパー・カーディガン・スカート・その他ウェア全般	
ハマナカアミーゴールド	アクリル(カシミロンコンジュゲート)60% 毛……………40%	50g	70色	並太タイプのウール混紡糸 本格派高級手芸手あみ糸	ツーピース・ブルオーバー・カーディガン・ベビーもの・子供もの ウェア全般	
ハマナカヌービー	アクリル(カシミロン)…60% 毛(キッドモヘア)……………40%	50g	24色	糸腰、弹性に富み棒針、鈎針に適したウール混紡タイプの高級ウェア素材	セーター・スーツ・ジャケット・その他ウェア全般	
ハマナカボンヌ	アクリル(カシミロンコンジュゲート)60% 毛……………40%	50g	38色	極太タイプのウール混紡糸 棒針に適した太さ、軽い仕上がり	ブルオーバー・ベスト・マフラー・その他ウェア全般	
ハマナカループ	アクリル(カシミロン)…66% 毛………27%・ナイロン………7%	50g	13色	ループヤーンの最高級手芸手あみ糸、軽くて豪華なファンシータイプ	帽子・マフラー・ベスト・ショール・アウトウェア全般	
ハマナカアミーミコ	アクリル(カシミロンコンジュゲート) <sup>100%</sup> (超ブライトカシミロン)	50g	41色	楽しいカラー、独特の3本撚並太タイプ	ストール・帽子・マフラー・インテリヤ小もの・カーディガン	
ハマナカボニー	アクリル(カシミロンコンジュゲート)100%	45g	47色	太くて軽く、カラフルなボリュームあふれた極太タイプ	クッション・マット・帽子・マフラー・ストール・その他インテリヤ	
ハマナカドリーナ	アクリル(カシミロン)…60% 毛……………40%	50g	43色	糸腰があり、ビーリング(毛玉)が出来ないなどすぐれた特長を持つマットヤーン	マット・インテリヤ・バック・小物等	
ハマナカダンボ	アクリル(カシミロンコンジュゲート)70% 毛……………30%	50g	18色	今日編んで明日着られる4本撚超極太タイプ	マフラー・ウェア小もの・ベスト等	
ハマナカボア	ゴールド	アクリル(カシミロン)…45% アクリル(ピューロン)…35% ナイロン……………15% ポリエステル……………5%	50g	17色	毛皮の感覚を取り入れた手芸糸。丸味のあるボリューム感・風合いは抜群	トップコート・ハーフコート・帽子等
	ライト	アクリル(カシミロン)…50% レーヨン(アンダリヤ)…45% ポリエステル……………5%	50g	5色	毛皮の感覚を取り入れた手芸糸。丸味のあるボリューム感・風合いは抜群	帽子・マフラー等のウェア小物・その他ウェア
ハマナカアミーゴールド (カラフル)	アクリル(カシミロンコンジュゲート)60% 毛……………40%	50g	10色	毛混の並太段染めタイプ、 発色性・風合いがよい	ツーピース・ワンピース・セーター・その他 のウェア全般	
ハマナカゴーベル	アクリル(カシミロンコンジュゲート)70% 毛……………30%	50g	12色	極太タイプのチェーンヤーン・色腰があり、軽い	ブルオーバー・カーディガン・セーター・その他ウェア全般	



“手芸は心の必需品”

楽しい手芸 **JT** ハマナカ®